

第53回

大気環境学会年会

プログラム

平成24年（2012年）

9月12日（水）～9月14日（金）

神奈川大学（横浜市）

（公社）大気環境学会

第 53 回大気環境学会年会

主 催	公益社団法人 大気環境学会
後 援	環境省、日本学術会議、全国知事会、全国市長会、神奈川県、横浜市環境創造局、川崎市
協 賛	日本環境協会、産業環境管理協会
会 期	平成 24 年 9 月 12 日（水）～ 9 月 14 日（金）
会 場	神奈川大学 横浜キャンパス（〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1）
年会事務局	神奈川大学工学部環境分析化学研究室内 第 53 回大気環境学会年会事務局
名誉年会長	神奈川県知事 黒岩 祐治
年 会 長	神奈川大学 井川 学
学 会 長	埼玉県環境科学国際センター 坂本 和彦
年会事務局長	神奈川大学 南齋 勉

プログラム概要

日 程	午 前	午 後	夜
9 月 12 日（水）	一般研究発表・特別集会	ポスターセッション、 一般研究発表	分科会
9 月 13 日（木）	一般研究発表・特別集会	総会、受賞記念講演、 特別講演	懇親会
9 月 14 日（金）	一般研究発表・特別集会	一般研究発表	

大気環境学会行事

支 部 長 会	日時 9 月 11 日（火） 12:00～13:30 会場 神奈川大学横浜キャンパス 1 号館 8F 804号室
理 事 会	日時 9 月 11 日（火） 14:00～16:00 会場 神奈川大学横浜キャンパス23号館 5F 527号室
理事準備会	日時 9 月 11 日（火） 16:10～17:00 会場 神奈川大学横浜キャンパス23号館 5F 527号室
理事懇親会	日時 9 月 11 日（火） 17:30～20:00 会場 神奈川大学横浜キャンパス 1 号館 8F 806号室
国際交流委員会	日時 9 月 12 日（水） 12:00～14:00
AJAE委員会	会場 神奈川大学横浜キャンパス23号館 5F 527号室
広報委員会	日時 9 月 12 日（水） 15:00～16:00 会場 神奈川大学横浜キャンパス23号館 5F 527号室
倫理委員会	日時 9 月 13 日（木） 10:00～11:00 会場 神奈川大学横浜キャンパス23号館 5F 527号室
総会・学術賞受賞記念講演	日時 9 月 13 日（木） 13:10～15:30 会場 神奈川大学横浜キャンパス 16号館 セレストホール（S会場）
懇親会	日時 9 月 13 日（木） 18:00～20:00 会場 みなとみらい地区赤レンガ倉庫1号館3階ホール
編集委員会	日時 9 月 14 日（金） 12:00～14:00 会場 神奈川大学横浜キャンパス23号館 5F 527号室

年会参加案内

1. 年会当日の受付

神奈川大学横浜キャンパス 23 号館で、午前 8:30 より受付を行います。白楽駅側から向かうときは、正門横の公道を図書館方面へ進んだ先に 23 号館があります。

- (1) 事前参加登録済みの方：事前登録受付にて、参加手続きを行ってください。この際、あらかじめ事前登録確認証および委任状をご準備の上、ご提出ください。ネームカードをお渡しします。なお別途領収証が必要な方は 12 日午後以降に受付でお申し出ください。
- (2) 当日参加申込の方：当日記帳台にある【第 53 回大気環境学会年会参加登録カード】に諸事項をご記入の上、参加費とともにご提出ください。年会参加費は、正会員 8,000 円、学生会員 4,000 円、非会員 10,000 円です。いずれも講演要旨集代を含みます。引き換えにネームカードと領収証をお渡しいたしますので、氏名・所属をご記入ください。

お渡ししたネームカードは、年会期間中は常に身につけてください。ネームカードを身につけていない方の入場はお断りすることがあります。なお、懇親会の参加は当日も受け付けていますのでお申込ください（詳細は 9. 懇親会 の項を参照）。

2. 講演要旨集

講演要旨集 1 冊分は参加費に含まれていますが、余分に必要の方のために、会期中総合受付にて、1 冊 5,000 円で販売します。

3. 一般研究発表者の方へ

<口頭発表者の方へ>

PC 受付は、3 階の階段横スペース（F 会場前）にて午前 8:30 より行います。

口頭発表の演者は、ご発表のセッションの開始 30 分前までに PC 受付を終了して下さい。発表時間は講演が 9 分、質疑応答が 3 分です。発表形式は Microsoft PowerPoint でお願いします。本学会ではスライドは一切使用しません。ご自分のノート PC か、データ入力済みの USB フラッシュメモリをお持ちいただき、接続・動作の確認を済ませて下さい。但し、Macintosh については Windows データに変換するか本体持込が原則です。年会の円滑な進行のため、原則として事務局が準備する PC をお使いください。ご自身のノート PC をお使いの場合、接続やトラブルのための発表時間の延長はいたしませんのでご注意ください。

※Windows 使用の方へ

発表データは USB フラッシュメモリでの持ち込みをお勧めします。

(1) PC 本体を持参する場合

- ① 事前に PC 受付にて、お持ち込みになる PC が外部ディスプレイに出力が可能であるか、特に動画が多用された大容量データの場合、必ず事前に確認して下さい。また、発表中にスクリーンセーバーや省電力機能で電源が切れないように設定して下さい。

- ② 一部のノート型 PC に外部出力端子が独自の形状のものががありますので、確認の上、D-sub15pin ケーブルへの変換コードを必ずご持参下さい。また、電源接続コードも必ずご持参下さい。
- ③ 舞台上に持込み PC 接続用の D-sub15pin ケーブルが準備されておりますので、ご発表の 20 分前までに会場までお持ち下さい。発表の際は演者ご自身で操作をしてください。

(2) USB フラッシュメモリを持参する場合

- ① 発表用 PC には下記仕様のものを用意しております。PC 受付にて動作確認と登録をお願いします。

◆OS : Windows XP

◆アプリケーション : Microsoft PowerPoint (Ver. 2003)

◆動画アプリケーション : Windows Media Player (Ver. 10)

◆フォント : Microsoft 基本フォント

これ以外の環境で作成されたデータについてはレイアウトの崩れ、文字化け等の表示トラブルが起きる可能性がありますので、あらかじめ上記環境の PC で御確認下さい。

- ② 持込素材は、下記に限定します。発表データに他のデータ(動画等)をリンクさせている場合は、必ず元の動画等データも保存して下さい。

また、高画質、圧縮データの動画を使用の場合は、バックアップとしてご自身の PC 本体の持参をお勧めします。

◆動画ファイルの最大ファイルサイズ 10MB

- ③ 舞台上に事務局が準備した PC があります。PC 受付にてお預かりしたデータは会場内 PC に転送されておりますので、USB フラッシュメモリで再度取り込む必要はありません。発表データは会場の係員が立ち上げますが発表の際は演者ご自身で操作して下さい。

※Macintosh 使用の方へ

Windows データに変換していただくか、PC 本体をご持参下さい。

Mac データでの USB フラッシュメモリの持込みは出来ません。

- ① 事前に PC 受付にて外部ディスプレイでの映写確認をお願いします。
- ② 変換コード、電源接続コードを必ずご持参下さい。また、発表中にスクリーンセーバーや省電力機能で電源が切れないように設定して下さい。

＜ポスター発表者の方へ＞

ポスター発表の演者は、9 月 12 日(水)の 12:00 までにポスターを P 会場(23-204, 205, 206, 208, 209, 210)に各自掲示してください。掲示に必要な画鋲は事務局で用意いたします。同日 13:00 ~14:30 の間は説明のためにポスターの前にお立ちください。ポスターの撤去は、9 月 14 日(金)の 13:00 までをお願いします。同日 15:00 以降に掲示されているポスターは実行委員会で撤去いたします。なお、ポスター発表に使用されるパネルのサイズは、縦 210 cm、横 90 cm です。

4. 座長（一般研究発表）の方へ

座長打ち合わせは行いませんので、受け持ちの研究発表開始 20 分前までに会場へ行き、会場後方の座長受付にて受付を済ませてください。座長受付に座長リストを置いておきますので、印をお付け下さい。進行については一切を座長にお任せいたします。口頭発表 1 演題につき、講演が 9 分、質疑応答が 3 分です。PC の使用に伴うトラブルは、やむを得ない場合を除きその発表者の持ち時間内で処理してください。なお、発表取り消しがあっても次講演を繰り上げることなく、講演発表時刻はプログラムどおりに進行願います。

5. 講演番号について

各講演に以下の方式で講演番号をつけ、一般研究発表プログラムと講演者索引で用いています。

- ・ 一般研究発表：最初の数字が講演日＜1：9/12（水）、2：9/13（木）、3：9/14（金）＞を次のアルファベットが会場名、最後の 4 桁の数字は講演開始時間を表します。
例えば「1E1026」は、1 日目 9 月 12 日、E 会場で 10:26 からの講演です。
- ・ ポスター発表：「P」は会場、数字はポスター番号（連番）です。
- ・ 特別集会・分科会：最初の数字が講演日＜1：9/12（水）、2：9/13（木）、3：9/14（金）＞を表し、次のアルファベットが会場名、それに続く 4 桁の数字は特別集会の開始時間、－（ハイフン）以降の数字はその集会内の講演順を表します。

例えば「3G0900-5」は、3 日目 9 月 14 日、G 会場で 9:00 からの特別集会・分科会で 5 番目の講演です。

6. ベストポスター賞

本年度では、学生会員を対象として優秀なポスター発表を選考し、「ベストポスター賞」を贈呈いたします。選考は選考委員が行います。選考対象者のポスターには確認のためリボンを付けさせていただきます。もし、対象であるにもかかわらず、リボンがついていない場合は、本部スタッフまでお知らせください。なお、ベストポスター賞受賞者は、懇親会にて賞状および副賞の授与を行います。（懇親会をご招待となりますので、懇親会受付にお申し出ください）

7. 環境機器展

横浜キャンパス 23 号館 2 階 P 会場の一部において『環境機器展』を開催いたします。展示時間は、9 月 12 日（水）～9 月 14 日（金）の 9:30～17:30（最終日は 15:00 まで）です。参加無料ですので、ふるってご来場ください。なお、9 月 12、13 日は、先着 100 名様限定で、軽食付き出展社セミナーを開催いたします。

8. 昼食・休憩について

キャンパス内に食堂（10・19 号館）、売店（19 号館）、マクドナルドがありますのでご利用ください。（詳細は p. 7 を参照）

9. 懇親会

日 時： 2012 年 9 月 13 日（木） 18:00～20:00

会 場： みなとみらい地区赤レンガ倉庫 1 号館 3 階ホール

参加費： 7,000 円（学生会員 3,500 円）

＊ 総合受付および懇親会会場にて参加申込ができます。

100 年以上の歴史を持つ会場にて、ジャズの生演奏を聴きながら会食をお楽しみいただけます。

当日の特別講演終了後の 17:00 に、懇親会会場である赤レンガ倉庫行きの無料バスが正門近くより出発しますのでご利用ください。

10. その他

- (1) 会場には駐車場がございませんので、来場の際には公共の交通機関をご利用ください。
- (2) 会場内は禁煙です。喫煙所がございますのでご利用ください。
- (3) 発表会場内での携帯電話のご利用はご遠慮ください。会場内ではマナーモードに設定するか、電源をお切りください。
- (4) ゴミ（弁当の空箱、飲物の空瓶空缶を含む）は、各自で必ず持ち帰ってください。
- (5) 会場内での呼び出しは行いませんが、総合受付付近に連絡板の設置をいたしますのでご利用ください。
- (6) 会場の近辺で無線 LAN を利用できます。利用を御希望の方は、受付にて配布する無線 LAN 使用説明書をご参照ください。

<第 53 回大気環境学会事務取り扱い>

トップツアー株式会社 新宿支店

住所： 〒160-0023 新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル 16F

TEL： 03-5348-3500

FAX： 03-5348-3799

E-mail： jsae2012@toptour.co.jp

担当： 岡本・青木（仁）・青木（陽子）

営業時間： 平日 9:30-18:00（土曜・日曜・祝日休業）

会場までの交通



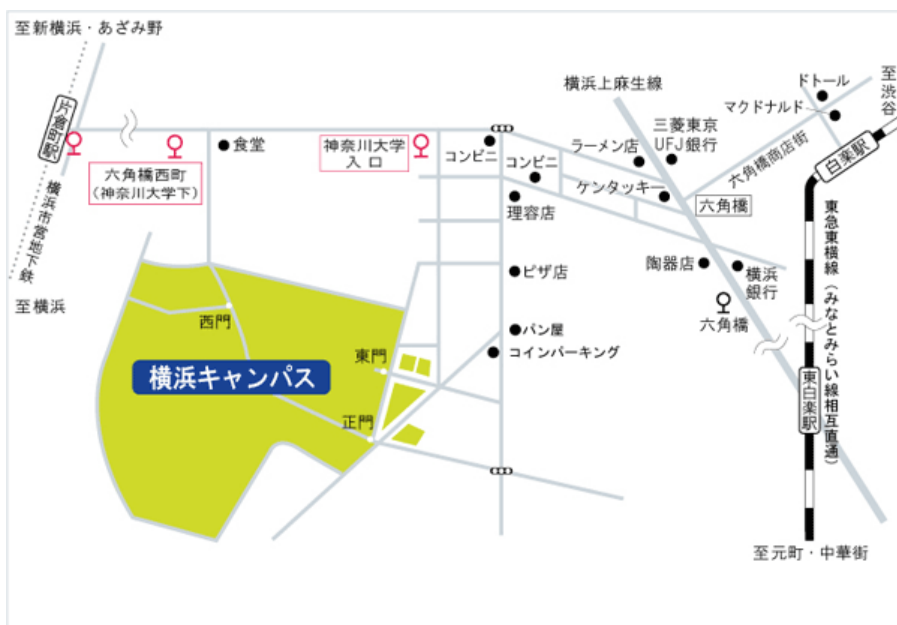
東急東横線 白楽駅下車（徒歩 15 分）/地下鉄ブルーライン 片倉町駅下車（徒歩 15 分）

●横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用（東神奈川駅西口経由）

【1 番乗場 36 系統】菅田町/ 緑車庫行-約 14 分-神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車【1 番乗場 82 系統】八反橋/ 神大寺入口行-約 14 分-神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

●片倉町駅前（横浜市営地下鉄）より横浜市営バス利用

【2 番乗場 36・82 系統】東神奈川駅西口/ 横浜駅西口行-約 6 分-「六角橋西町」下車

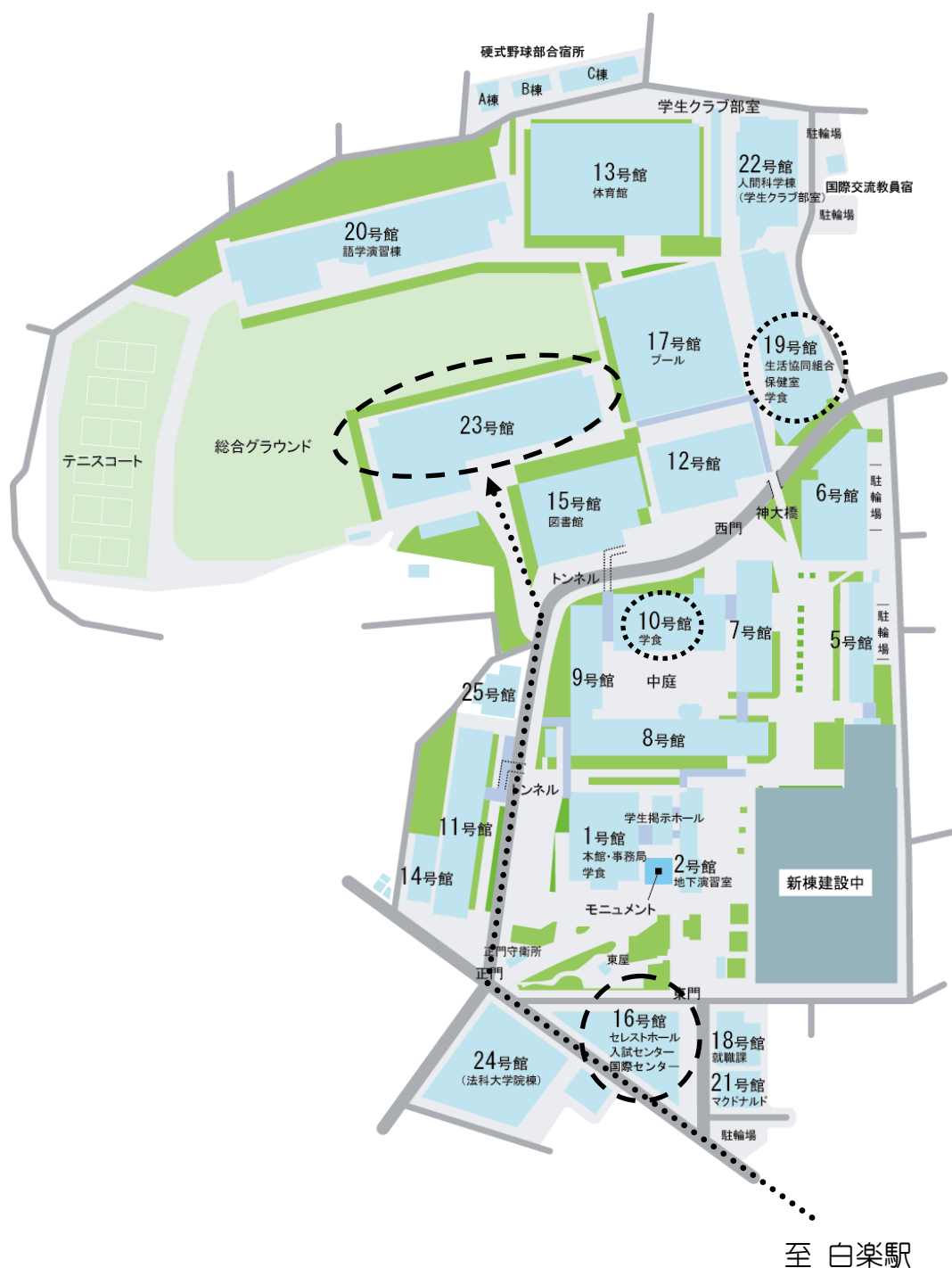


神奈川大学 横浜キャンパス マップ



※19号館食堂 LUX は 9月12日(水)、13日(木)のみ営業 (11:45~13:15)
 10号館食堂カルフル は 全日 11:30~14:00 営業
 19号館生協購買部 は 全日 10:30~16:30 営業

神奈川大学 横浜キャンパス 校舎配置図



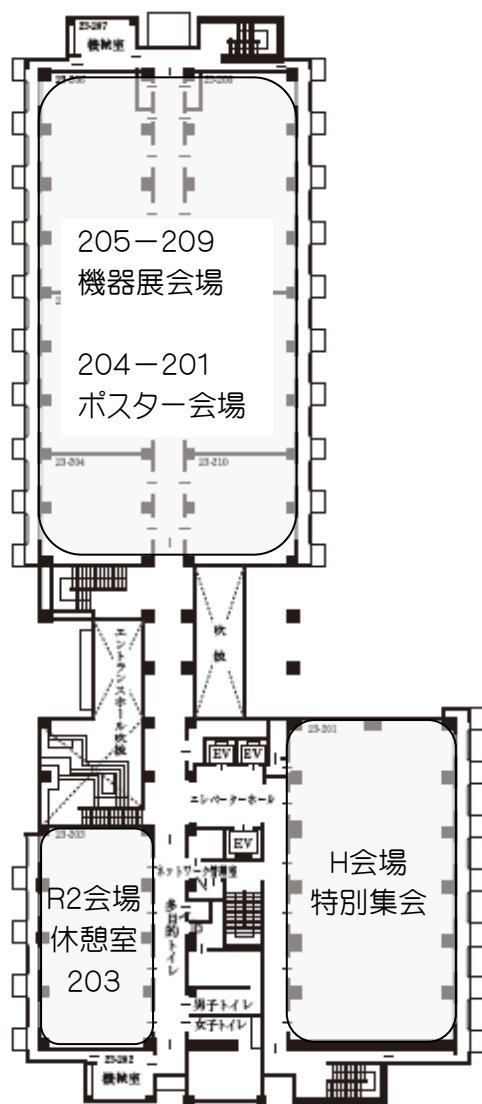
会場案内

会 場 名	部屋番号	
総合受付	学生ラウンジ	(1F)
年会本部	3 0 5 室	(2F)
A会場	3 0 4 室	(2F)
B会場	3 0 6 室	(2F)
C会場	3 0 7 室	(3F)
D会場	3 0 9 室	(3F)
E会場	3 1 0 室	(3F)
F会場	3 1 1 室	(3F)
G会場	3 0 1 室	(3F)
H会場	2 0 1 室	(2F)
R 1 会場【休憩室】	3 0 3 室	(3F)
R 2 会場【休憩室】	2 0 3 室	(2F)
S会場	セレストホール	(16 号館)
P会場【ポスター会場】	2 0 4－2 1 0 室	(2F)
P会場【機器展会場】	2 0 5－2 0 9 室	(2F)

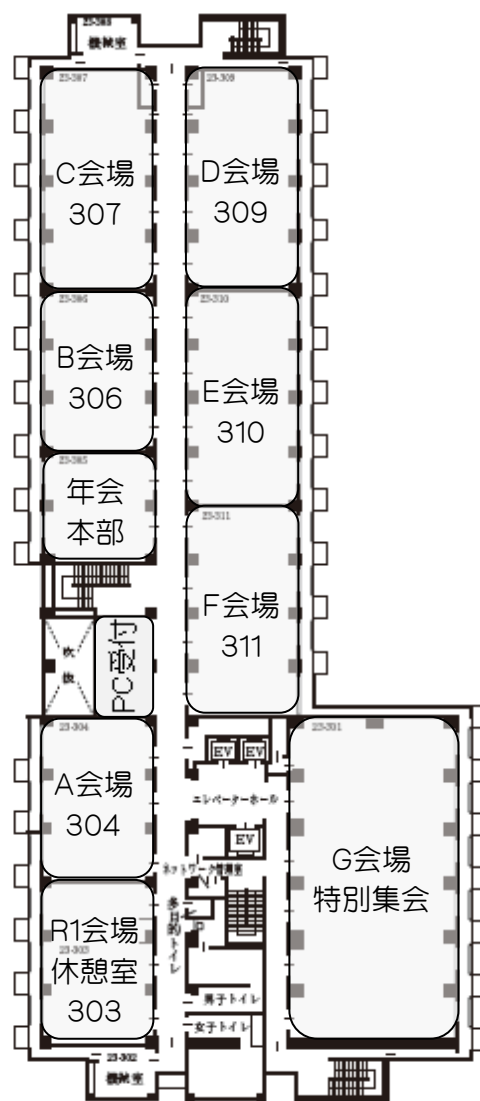
[illegible]

23号館

2階



3階



第 53 回大気環境学会年会 会場別日程表

注：表中の氏名は講演者・一般研究発表者の口頭発表者を表しており、
必ずしも連名筆頭者を表しているわけではありません。

9 月 12 日(水)午前

会場名	部屋番号 (収容人数)	発表部門	9:00				9:51				10:00				10:51				11:00					12:05				
			00	13	26	39					00	13	26	39					00	13	26	39	52					
R1	23号館 303教室 (107)	休憩室	(9:00-18:00 3F休憩室)																									
A	23号館 304教室 (125)	3-1 生体											伊藤 剛 吉田 成一 定金 香里 市瀬 孝道 上田 佳代				島 正之 細谷 純一 古根村 綾乃 伊藤 剛 古山 昭子 Tin Tin WinShw											
B	23号館 306教室 (125)	3-3 植物											佐久川 弘 楠達 慶彦 渡邊 美那穂 星加 康智 黄瀬 佳之				星加 康智 安土 文鹿 武田 麻由子 渡辺 誠 山口 真弘 万代 小百合											
C	23号館 307教室 (168)	1-4 都市・地域											井上 和也 長野 晃 原 知輝 池田 好美 岩田 智秀				速水 洋 伊藤 憲男 石井 栄勇 川口 佳菜 梅沢 夏実											
D	23号館 309教室 (166)	2-1 計測分析											定永 靖宗 天谷 和夫 天谷 和夫 天谷 和夫 渡邊 善之				山本 勝彦 三阪 和弘 藤村 満 藤村 満 中嶋 吉弘 鈴木 一成											
E	23号館 310教室 (170)	5-1 ガス状物質											松本 淳 松本 利恵 今西 克磨 酒巻 剣 野口 美由貴				山口 高志 鈴木 佳祐 内田 悠太 斎藤 育江 渡邊 剛久 大塚 壮一											
F	23号館 311教室 (170)	5-2 粒子状物質											飯島 明宏 緒方 裕子 伊藤 彰記 藤谷 雄二 宮田 賢				藤谷 雄二 浅川 大地 岡崎 友紀代 斎藤 正義 齊藤 勝美 山本 重一											
G	23号館 301教室 (368)	特別集会																								9:30-12:00 特別集会1 「PM2.5に関する最新の状況と関東甲信静地域における特徴」		
H	23号館 201教室 (368)	特別集会																										
R2	23号館 203教室 (170)	休憩室	(9:00-18:00 2F休憩室)																									
O	23号館 305教室	本部・スタッフ室	年会本部 (隣接スペースにて PC受付9:00-16:00)																									
P	23号館 204-210教室	ポスター会場	(9:00-12:00 ポスター準備)																									
P	23号館 205-209教室	展示会	9:30-17:30 環境機器展																									
S	16号館 セレストホール (400)																											

9月12日(水)午後

会場名	部屋番号 (収容人数)	発表部門	13:00		14:30		14:40		15:45		16:00	18:00
					40	53	06	19	32			
R1	23号館 303教室 (107)	休憩室	(3F休憩室 ～18:00)									
A	23号館 304教室 (125)	3-1 生体	Taylor Eldred	梶原 秀夫	大山 正幸	島 正之	喜多 善史	植物分科会 (日本のブナ林の生態学的特徴と大気環境)				
B	23号館 306教室 (125)	1-1 室内	水越 厚史					室内環境分科会 (省エネルギー下における室内環境)				
C	23号館 307教室 (168)	1-4 都市・地域	板野 泰之					都市大気環境モデリング分科会 (大気環境行政とシミュレーション)				
D	23号館 309教室 (166)	5-3 酸性雨	青木 智和	吉門 洋	連水 洋	井上 和也	奥気環境分科会 (ペット臭の原因と対策)					
E	23号館 310教室 (170)	5-1 ガス状物質	中村 雅和					自動車環境分科会 (自動車の排出ガスおよび燃費規制の環境改善効果と今後のあり方)				
F	23号館 311教室 (170)	5-2 粒子状物質	渡辺 幸一	田原 大祐	米山 直樹	佐瀬 裕之	伊藤 和男	環境大気モニタリング分科会 (環境大気モニタリングに関する最近の話題)				
G	23号館 301教室 (368)	特別集会	野口 美由貴					健康影響分科会&都市大気エアロゾル分科会 共催 (都市大気における粒子の生成とその生体影響)				
H	23号館 201教室 (368)	特別集会	渡邊 善之 高橋 宏明 山本 重一 松本 淳 山口 高志					酸性雨分科会 (酸性雨・広域大気汚染研究におけるモデルシミュレーションへの取り組み)				
R2	23号館 203教室 (170)	休憩室	(2F休憩室 ～18:00)									
O	23号館 305教室	本部・スタッフ室	年会本部 (隣接スペースにて PC受付 ～16:00)									
P	23号館 204-210教室	ポスター会場	13:00-14:30 ポスターセッション		(ポスター掲示可)							
P	23号館 205-209教室	展示会	9:30-17:30 環境機器展									
S	16号館 セレストホール (400)											

9月13日(木)午前

会場名	部屋番号 (収容人数)	発表部門	9:00				9:51				10:00				10:51				11:00				12:05							
			00	13	26	39					00	13	26	39					00	13	26	39	52							
R1	23号館 303教室 (107)	休憩室	(9:00-17:00 3F休憩室)																											
A	23号館 304教室 (125)	2-5 シミュレーション	森 康彰				板橋 秀一				森野 悠				森野 悠				森野 悠				森野 悠				森野 悠			
B	23号館 306教室 (125)	2-1 計測分析	宮川 拓真				中嶋 吉弘				竹内 政樹				竹内 政樹				竹内 政樹				竹内 政樹				竹内 政樹			
C	23号館 307教室 (168)	1-4 都市・地域	市川 陽一				嶋寺 光				鎌滝 裕輝				山根 裕一				西元 将洋				市川 陽一				嶋寺 光			
D	23号館 309教室 (166)	5-3 酸性雨	久恒 邦裕				久恒 邦裕				藤田 慎一				北山 響				中村 雅和				大泉 毅				大泉 毅			
E	23号館 310教室 (170)	1-5 東アジア	金谷 有剛				高見 昭憲				坂東 博				畠山 史郎				藤原 大				金谷 有剛				金谷 有剛			
F	23号館 311教室 (170)	5-2 粒子状物質	上野 広行				日置 正				山本 勝彦				谷口 延子				秋山 雅行				熊谷 貴美代				熊谷 貴美代			
G	23号館 301教室 (368)	特別集会	9:30-12:00 特別集会2 「植物に対するエアロゾルの影響」																											
H	23号館 201教室 (368)	特別集会																												
R2	23号館 203教室 (170)	休憩室	(9:00-17:00 2F休憩室)																											
O	23号館 305教室	本部・スタッフ室	年会本部 (隣接スペースにて PC受付9:00-16:00)																											
P	23号館 204-210教室	ポスター会場	(ポスター掲示可)																											
P	23号館 205-209教室	展示会	9:30-17:30 環境機器展																											
S	16号館 セレストホール (400)																													

9 月 13 日(木)午後

会場名	部屋番号 (収容人数)	発表部門	13:00	17:30
R1	23号館 303教室 (107)		(3F休憩室 ～17:00)	
A	23号館 304教室 (125)			
B	23号館 306教室 (125)			
C	23号館 307教室 (169)			
D	23号館 309教室 (166)			
E	23号館 310教室 (170)			
F	23号館 311教室 (170)			
G	23号館 301教室 (369)			
H	23号館 201教室 (368)			
R2	23号館 203教室 (170)	休憩室	(2F休憩室 ～17:00)	
O	23号館 305教室	本部・スタッフ室	年会本部 (隣接スペースにて PC受付 ～16:00)	
P	23号館 204-210教室	ポスター会場	(ポスター掲示可)	
P	23号館 205-209教室	展示会	9:30-17:30 環境機器展	
S	16号館 セレストホール (400)		13:10 ～17:00 総会・受賞講演・特別講演	

9月14日(金)午前

会場名	部屋番号 (収容人数)	発表部門	9:00				9:51				10:00				10:51				11:00				12:05				
			00	13	26	39					00	13	26	39					00	13	26	39	52				
R1	23号館 303教室 (107)	休憩室	(9:00-15:00 3F休憩室)																								
A	23号館 304教室 (125)	1-3 地区・街区 5-4 線維状物質 2-4 データ解析	松本 文雄								中村 憲司								茶谷 聡								
			村野 健太郎	原 悠花里	松見 豊					藤原 亘	外山 尚紀	井上 義雄	仲地 史裕					平澤 幸代	石井 康一郎	武藤 洋介	劉 露						
B	23号館 306教室 (125)	4-4 沈着 4-5 動態	堅田 元喜								中込 和徳								大原 信								
			阿部 達也	西川 晴香	水上 功					堅田 元喜	林 健太郎	小林 由典	大原 信					中込 和徳	野口 泉	野口 泉	福崎 紀夫						
C	23号館 307教室 (168)	1-2 道路沿道	船坂 邦弘								竹川 秀人								下原 孝章								
			下原 孝章	下原 孝章	力 寿雄	板垣 成泰					板垣 成泰	吉川 正晃	船坂 邦弘	藤原 禪					塩見 崇史	土肥 学	竹川 秀人	由良 仁志	佐々木 淳一				
D	23号館 309教室 (166)	4-1 排出	伏見 暁洋								森川 多津子								林 健太郎								
			新田 竜太	佐藤 厚	岩井 文	岡部 順					小林 伸治	山田 裕之	近藤 美則	神成 陽容					黒川 純一	小谷野 眞司	横田 久司	柏倉 桐子	近藤 明				
E	23号館 310教室 (170)	1-5 東アジア	原 宏								佐竹 晋輔								山下 研								
			長田 和雄	木戸 瑞佳	紫合 英樹	三好 猛雄					猪股 弥生	山下 研	後藤 隆久	日下部 正和					原 宏	原 宏	原 宏	森 育子					
F	23号館 311教室 (170)	5-2 粒子状物質	日置 正								山神 真紀子								高橋 克行								
			常友 大資	中坪 良平	板野 泰之	浅野 勝佳					長谷川 就一	米持 真一	山田 大介	米持 真一					城 裕樹	浦垣 充朗	小松 宏昭	鈴木 義浩	橋本 拓磨				
G	23号館 301教室 (368)	特別集会	9:00-12:00 特別集会3 「2013年霧と露の国際会議プレカンファレンス」																								
H	23号館 201教室 (368)	特別集会	9:00-12:00 特別集会4 「福島原発事故の環境影響調査結果とモニタリングの現状・将来について」																								
R2	23号館 203教室 (170)	休憩室	(9:00-15:00 2F休憩室)																								
O	23号館 305教室	本部・スタッフ室	年会本部 (隣接スペースにて PC受付9:00-14:00)																								
P	23号館 204-210教室	ポスター会場	(ポスター掲示可)																								
P	23号館 205-209教室	展示会	9:30-13:00 環境機器展																								
S	16号館 セレストホール (400)																										

9月14日(金)午後

会場名	部屋番号 (収容人数)	発表部門	13:00				13:51				14:00				14:51				15:00				16:20			
			00	13	26	39					00	13	26	39					00	13	26	39				
R1	23号館 303教室 (107)	休憩室	(3F休憩室 ~15:00)																							
A	23号館 304教室 (125)																									
B	23号館 306教室 (125)																									
C	23号館 307教室 (168)	1-2 道路沿道	近藤 裕昭																							
			北岡 健	神田 勲	齊藤 伸治	吉田 裕志	井手 靖雄	奥西 将之																		
D	23号館 309教室 (166)	4-1 排出	小林 伸治																							
			森川 多津子	森川 多津子	金谷 有剛	林 健太郎	伏見 暁洋																			
E	23号館 310教室 (170)																									
F	23号館 311教室 (170)	5-2 粒子状物質	関口 和彦				米持 真一																			
			兼保 直樹	反町 篤行	池盛 文数	米持 真一	高橋 克行	石井 克巳	藤谷 雄二	桜井 健治																
G	23号館 301教室 (368)																									
H	23号館 201教室 (368)																									
R2	23号館 203教室 (170)	休憩室	(2F休憩室 ~15:00)																							
O	23号館 305教室	本部・スタッフ室																								
P	23号館 204-210教室	ポスター会場	(13:00までにポスター撤去)																							
P	23号館 205-209教室	展示会	9:30-15:00 環境機器展																							
S	16号館 セレストホール (400)																									

総 会 ・ 受賞記念講演

平成 24 年度大気環境学会総会

日 時 : 平成 24 年 9 月 13 日 (木) 13:10 ~ 15:30

会 場 : 神奈川大学 横浜キャンパス 16 号館 セレストホール

1. 年会総会

- (1) 大気環境学会年会長挨拶
- (2) 大気環境学会賞及び論文賞の表彰
- (3) 学術賞 受賞記念講演
大気汚染の野外観測からその対策をめざして
下原 孝章 (福岡県保健環境研究所)

2. 定期総会

- (1) 大気環境学会会長挨拶
- (2) 来賓祝辞
- (3) 議長選出
- (4) 平成 23 年度事業報告及び収支決算について
- (5) 平成 24 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について
- (6) 大気環境学会役員の選任について
- (7) 公益社団法人移行について
- (8) 名誉会員の推戴
- (9) 第 54 回大気環境学会年会開催地について
- (10) その他

特別講演

日 時 : 平成 24 年 9 月 13 日 (木) 15:40 ~ 17:00

会 場 : 神奈川大学 横浜キャンパス 16 号館 セレストホール

講 師 : 曾根 理嗣 (宇宙航空研究開発機構、総合研究大学院大学)

講 演 : 基盤技術が支える探査機運用
ー「はやぶさ」コンポーネント運用の現場からー

座 長 : 大河内 博 (早稲田大学)

大気環境学会誌 第 46 巻（平成 23 年） 論文賞

学術部門

- （原著論文） 3次元大気シミュレーションによる 2005 年度日本三大都市圏 PM_{2.5} 濃度に対する国内発生源・越境輸送の感度解析
（茶谷 聡、森川 多津子、中塚 誠次、松永 壮）
- （原著論文） 北関東における微小粒子状物質のレセプターモデルと放射性炭素同位体比を組み合わせた発生源寄与率推定
（高橋 克行、伏見 暁洋、森野 悠、飯島 明宏、米持 真一、速水 洋、長谷川 就一、田邊 潔、小林 伸治）

進歩部門

- （技術調査報告） 群馬県における地下水窒素汚染に対する大気沈着の寄与の推計
（下田 美里、田子 博、熊谷 貴美代、齊藤 由倫、小澤 邦壽、飯島 明宏）

学生若手部門

- （原著論文） 東アジアから輸送される汚染大気中の炭素質エアロゾルの変動と発生源推定
（島田 幸治郎、高見 昭憲、加藤 俊吾、梶井 克純、畠山 史郎）
- （原著論文） 日本および中国における大気粒子中多環芳香族炭化水素キノンの観測
（片山 裕規、後藤 知子、亀田 貴之、唐 寧、松木 篤、鳥羽 陽、早川 和一）

特 別 集 会

特別集会 1	PM2.5 に関する最新の状況と関東地域の特徴
特別集会 2	植物に対するエアロゾルの影響
特別集会 3	2013 年霧と露の国際会議プレカンファレンス
特別集会 4	福島原発事故の環境影響調査結果とモニタリングの現状・将来について

特別集会 1 【PM2.5 に関する最新の状況と関東地域の特徴】

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 9：30 ～ 12：00

企 画： 全国環境研協議会・大気環境学会

世話人： 石井 康一郎（東京都環境科学研究所）
内藤 季和（千葉県環境研究センター）
米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）
浅野 勝佳（奈良県保健環境研究センター）

会 場： G 会場（23 号館 301 号室）

座 長： 石井 康一郎（東京都環境科学研究所）

講 演：

- (1) PM2.5 対策に関する環境省の取り組み

山本 光昭（環境省）

- (2) 関東地域における合同調査から見た最近の PM2.5 の状況

米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）

- (3) 関東内陸部における微小粒子状物質の化学成分の特徴

熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）

- (4) 微小粒子状物質の試料捕集方法と成分分析方法

高橋 克行（日本環境衛生センター）

特別集会2 【植物に対するエアロゾルの影響】

日 時： 平成24年9月13日（木） 9:30 ~ 12:00

会 場： G会場（23号館301号室）

世話人： 伊豆田 猛（東京農工大学大学院 農学研究院）

講 演：

(1) 趣旨説明

伊豆田 猛（東京農工大学大学院 農学研究院）

(2) エアロゾルの樹木への吸収・吸着機構の解明

船田 良（東京農工大学大学院 農学研究院）

(3) 樹木に対するエアロゾルの影響とその樹種間差異の解明

伊豆田 猛（東京農工大学大学院 農学研究院）

(4) 森林生態系におけるエアロゾルの沈着量と動態の評価手法の開発

原 宏（東京農工大学 農学部）・大河内 博（早稲田大学 創造理工学部）

(5) 東アジアの森林生態系におけるエアロゾルの沈着量と動態の評価

松田 和秀（東京農工大学 農学部）

(6) 冷温帯林におけるエアロゾル動態把握及び樹木の応答機構

渡邊陽子（北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター）

(7) 総合討論

伊豆田 猛（東京農工大学大学院 農学研究院）

特別集会3 【2013年霧と露の国際会議プレカンファレンス】

日 時： 平成24年9月14日（金） 9:00 ~ 12:00

会 場： G会場（23号館301号室）

世話人： 大河内 博（早稲田大学）

講 演：

(1) The chemistry of clouds at Mt. Tai, China

Jeffrey L. Collett, Jr. (Colorado State University)

(2) Fog affects CO₂ fluxes in a mountainous forest ecosystem in Taiwan

S.C.Chang (Institute of Natural Resources, National Dong Hwa University)

(3) Weathering of Cs, Sr and I in solid aerosols deposited on leaf surface by simulated fog

H. Kawabata et al. (Institute for Environmental Sciences)

(4) Dry deposition of gas and aerosol on wet canopy

K. Matsuda (Tokyo University of Agriculture and Technology)

(5) Characteristics of dew in Sakai, Osaka and the role of dew on the atmospheric chemistry

N. Takenaka (Osaka Prefecture University)

(6) General discussion

特別集会 4 【福島原発事故の環境影響調査結果とモニタリングの現状・将来について】

日 時： 平成 24 年 9 月 14 日（金） 9：00 ～ 12：00

企 画： 鶴田治雄（東京大学大気海洋研究所）、大原利眞（国立環境研究所）

会 場： H 会場（23 号館 201 号室）

座 長： 渡邊 明（福島大学）

講 演：

- (1) 文科省等の土壌マップ調査結果とその要因解析

鶴田 治雄ら（東大大気海洋研究所）

- (2) 放射性物質の森林生態系への移行過程に関する総合調査結果

恩田 裕一ら（筑波大学）

- (3) 福島第一原発事故後の大気放射性物質の変動と土壌からの再飛散の影響

北 和之ら（茨城大学）

- (4) 国環研で取り組む放射性物質の多媒体モデリングの紹介

大原 利眞ら（国立環境研究所）

- (5) 放射性物質に関する自治体でのモニタリングの現状と今後の体制について

井上 智博（千葉県環境研究センター）

- (6) 今、福島に必要な大気科学の研究成果

渡邊 明（福島大学）

- (7) 総合討論

分 科 会

1. 植物分科会

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

世話人： 中嶋 信美（国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター）
三輪 誠（埼玉県環境科学国際センター）

会 場： A 会場（23 号館 304 号室）

座 長： 河野 吉久（電力中央研究所）

講 演：

- (1) 日本のブナ林の現状と保全・再生に向けた課題

須田 隆一（福岡県保健環境研究所）

- (2) 神奈川県環境科学センターにおける丹沢ブナ林の保全に関する取り組み

武田 麻由子（神奈川県環境科学センター）

2. 室内環境分科会

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

世話人： 水越 厚史（地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター）
奥平 純子（千葉大学）
光崎 純（独立行政法人製品評価技術基盤機構）
篠原 直秀（独立行政法人産業技術総合研究所）

会 場： B 会場（23 号館 306 号室）

講 演：

- (1) 事務所ビルの省エネルギー ～電力中央研究所における成果・活動を中心に～

中野 幸夫（電力中央研究所）

- (2) 総合デベロッパーとしてのテナントビル省エネへの取り組み

山本 総一郎（三井不動産アーキテクチュラル・エンジニアリング株式会社）

- (3) 改修ビルにおける省エネ性と室内温熱環境

立野岡 誠、塚本 将朗、福井 雅英、植田 俊克（三菱冷熱工業株式会社）

3. 都市大気環境モデリング分科会

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

世話人： 森野 悠（国立環境研究所 地域環境研究センター）

会 場： C 会場（23 号館 307 号室）

講 演：

(1) シミュレーションに期待する役割 ―行政の立場から―

山本 光昭，後藤 隆久（環境省大気環境課）

(2) 東京都微小粒子状物質検討会におけるモデリングの活用と課題

樋口 幸弘（東京都環境科学研究所）

(3) 大気環境行政とシミュレーションとの連携

森 康彰，佐々木 寛介（日本気象協会）

(4) 数値シミュレーションによるわが国の大気質に対する ECA 設定の有効性評価

櫻井 達也¹⁾，華山 伸一²⁾，佐竹 晋輔¹⁾（¹⁾日本エヌ・ユー・エス，²⁾海洋政策研究財団）

4. 臭気環境分科会

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

世話人： 重岡 久美子（におい・かおり環境協会）

会 場： D 会場（23 号館 309 号室）

座 長： 重岡 久美子（におい・かおり環境協会）

講 演：

(1) 不快臭を伴わないイヌのシャンプー間隔は？

小田切 敬子（アニマルセラピー協会）

(2) ペット臭の原因と対策

岩橋 尊嗣（新エポリオン株式会社）

5. 自動車環境分科会

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

世話人： 近藤 美則（国立環境研究所）

阪本 高志（交通安全環境研究所）

山本 敏朗（交通安全環境研究所）

会 場： E 会場（23 号館 310 号室）

座 長： 山本 敏朗（交通安全環境研究所）

講 演：

- (1) ポスト新長期規制適合重量車の排出ガス状況について

小谷野 眞司（東京都環境科学研究所）

- (2) 燃費、CO₂の改善方法と悪化原因、その解消に向けた手法について

鈴木 央一（交通安全環境研究所）

- (3) 自動車 NOx・PM 法の延長と今後の課題

佐藤 厚（数理計画）

- (4) 自動車排出ガス規制の大気環境改善効果

小林 伸治（国立環境研究所）

- (5) 自動車排出ガス原単位の算定および排出ガス総量の推計

飯田 訓正（慶應義塾大学理工学部）

6. 環境大気モニタリング分科会

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

代 表： 内藤 季和（千葉県環境研究センター）

幹 事： 阿相 敏明（神奈川県環境科学センター）

星 純也（東京都環境局環境改善部）、

平野 耕一郎（横浜市環境科学研究所）

吉成 晴彦（千葉県環境財団）、

泉川 碩雄（中外テクノス株式会社）

西川 雅高（国立環境研究所）

田中 茂（慶応義塾大学理工学部）

長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）

齊藤 勝美（イサラ研究所）

賢持 省吾（東亜ディーケーケー株式会社）

戸矢崎 保雄（紀本電子工業株式会社）

三笠 元（日本環境技術協会）、

森 正樹（森技術士事務所）

会 場： F 会場（23 号館 311 号室）

座 長： 内藤 季和（千葉県環境研究センター）

講 演：

- (1) 筑波で観測された大気中の福島第一原子力発電所事故由来の放射性核種

土井 妙子、田中 敦、柴田 康行（国立環境研究所）

梶本 和義、豊田 晃弘（高エネルギー加速器研究機構）

廣瀬 勝己（上智大学理工学部）

- (2) 地方公共団体における環境大気常時監視の現状と課題

齋藤 勝美（イサラ研究所）

- (3) 東アジアにおける大気汚染とモニタリング

紀本 岳志（紀本電子工業株式会社）

7. 健康影響分科会&都市大気エアロゾル分科会共催企画

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

世話人： 新田 裕史（国立環境研究所）

上田 佳代（国立環境研究所）

山神 真紀子（名古屋市環境科学研究所）

会 場： G 会場（23 号館 301 号室）

座 長： 山神 真紀子（名古屋市環境科学研究所）

新田 裕史（国立環境研究所）

講 演：

- (1) 微小粒子状物質の環境動態と毒性、健康影響に関する研究

高見 昭憲（国立環境研究所）

- (2) 微小粒子状物質の環境測定の実状と疫学研究における環境測定

長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）

- (3) 小規模チャンバーによる二次生成有機エアロゾルの発生手法確立と毒性影響評価

藤谷 雄二（国立環境研究所）

- (4) 微小粒子およびその成分の健康影響 健康影響：疫学的手法による評価と課題

上田 佳代（国立環境研究所）

8. 酸性雨分科会

日 時： 平成 24 年 9 月 12 日（水） 16：00 ～ 18：00

世話人： 大泉 毅（一般財団法人 日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター）

村野 健太郎（法政大学）

大原 真由美（（元）広島県立総合技術研究所 保健環境センター）

北村 洋子（宮城県保健環境センター）

都築 英明（明治国際医療大学）

野口 泉（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）

会 場： H 会場（23 号館 201 号室）

座 長： 松本 利恵（埼玉県環境科学国際センター）

講 演：

- (1) 兵庫県環境研究センターにおける気象/大気質モデルへの取り組み

堀江 洋佑（兵庫県環境研究センター）

- (2) 東アジアにおける酸性雨関連物質の排出量推計

黒川 純一（日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター）

- (3) 広域大気汚染研究における大気化学モデル利用の実状と課題

永島 達也（国立環境研究所）

一般研究発表プログラム

講演番号の1桁目は講演日、次の桁が会場名、最後の4桁は開始時間を示す。
演者の氏名の前に○を付す。

＜第1日目 9月12日（水）午前＞

A会場（3影響-1生体）

座長：伊藤 剛（日本自動車研究所）

1A1000	発生地異なる黄砂による雄性生殖機能低下に関する比較研究	○吉田 成一・賀 森（大分県立看護科学大学）・嵐谷 奎一（産業医科大学）・市瀬 孝道（大分県立看護科学大学）
1A1013	黄砂の付着がアトピー性皮膚炎に及ぼす影響	○定金 香里・市瀬 孝道（大分県立看護科学大学生体反応学）
1A1026	卵白アルブミン誘導性の好酸球性肺炎に対する黄砂とビルカンデラ真菌の影響	○市瀬 孝道（大分県立看護科学大学）・嵐谷 奎一（産業医科大学）・賀 森・吉田 成一（大分県立看護科学大学）・高野 裕久（京都大学大学院工学研究科）
1A1039	黄砂曝露が救急搬送数に及ぼす影響：目視およびライダー観測に基づく黄砂日判定を用いた解析	○上田 佳代（国立環境研究所）

座長：島 正之（兵庫医科大学）

1A1100	最新ディーゼルエンジン排気の胎仔・新生仔期曝露がマウスの中枢神経系に及ぼす影響	○細谷 純一・辺見 愛・古根村 綾乃・伊藤 剛（一般財団法人日本自動車研究所 エネルギー・環境研究部健康影響グループ）・成田 年（星薬科大学 薬学部）・武田 健（東京理科大学 薬学部）・香川 順（東京女子医科大学名誉教授）
1A1113	ディーゼル排気粒子の酸化活性における構成成分の寄与の解析法の検討	○古根村 綾乃・伊藤 剛・阿久津 康生（一般財団法人 日本自動車研究所）
1A1126	CAPs抽出物がラット心筋細胞H9c2の遺伝子発現におよぼす影響	○伊藤 剛（日本自動車研究所）・小林 隆弘（国際環境研究協会）
1A1139	二次生成有機エアロゾル(SOA)の細胞毒性	○古山 昭子・藤谷 雄二・高見 昭憲・平野 靖史郎（国立環境研究所）
1A1152	ディーゼル排気由来SOA点鼻投与がマウスの脳と肺に及ぼす影響	○Tin Tin Win Shwe・藤谷 雄二・曾根 秀子・新田 裕史・平野 靖史郎（独立行政法人国立環境研究所）

B会場（3影響-3植物）

座長：佐久川 弘（広島大学）

1B1000	オゾン曝露による樹木からのVOC発生量への影響	○楠窪 慶彦・近藤 明・井上 義雄（大阪大学大学院工学研究科）
1B1013	コマツナとコカブの収量に対する夜温上昇とオゾンの単独および複合影響	○渡邊 美那穂・住岡 千香・伊藤 伸一郎（東京農工大学大学院農学府）・岸 希美・谷口 優・伊豆田 猛（東京農工大学農学部）
1B1026	開放系オゾン暴露実験による冷温帯落葉広葉樹を対象としたオゾン吸収量の推定	○星加 康智・渡辺 誠・稲田 直輝・毛 巧芝・小池 孝良（北海道大学大学院）
1B1039	ブナの葉のオゾン吸収量推定モデルの構築	○黄瀬 佳之・安土 文鹿・松村 友絵・上原 唯・鹿又 友彰・小林 亜由美・山口 真弘・伊豆田 猛（東京農工大学大学院 農学府）

座長：星加 康智（北海道大学大学院）

1B1100	葉のオゾン吸収量に基づくブナ苗に対するオゾンと土壌への窒素負荷の複合影響の評価	○安土 文鹿・松村 友絵・上原 唯・鹿又 友彰・黄瀬 佳之・小林 亜由美・山口 真弘・伊豆田 猛（東京農工大学大学院 連合農学研究科）
1B1113	オゾンストレスに対するブナ葉における遺伝子発現解析	○武田 麻由子・小松 宏昭（神奈川県環境科学センター）・青野 光子（国立環境研究所）

1B1126	高CO ₂ に対するミズナラ萌芽の光合成・成長応答およびうどんこ病発現	○渡辺 誠（北海道大学）・北岡 哲（森林総合研究所）・江口 則和・渡邊 陽子・里村 多香美・高木 健太郎・佐藤 冬樹・小池 孝良（北海道大学）
1B1139	ブナ、スダジイ、カマツおよびスギに対する硫酸アンモニウム粒子の影響に関する実験的研究	○山口 真弘・大谷 葉子・竹田 健太・李 ホツゼン・長尾 宙・関 明人・半 智史・山根 健一（東京農工大学）・矢崎 健一・野口 享太郎・黒田 克史（森林総合研究所）・佐野 雄三（北海道大学）・Wuled Lenggoro（東京農工大学）・石田 厚（京都大学）船田 良・伊豆田 猛（東京農工大学）
1B1152	インゲンマメを用いたオゾンおよび多環芳香族炭化水素の複合影響に関する研究	○万代 小百合・佐久川 弘（広島大学）

C会場（1 空間-4 都市・地域）

座長：井上 和也（産業技術総合研究所）

1C1000	廃プラスチックのリサイクル処理により検出された化学物質	○長野 晃（NGOいのちと環境ネットワーク）
1C1013	大気中ニトロメタンー都市部～田園地帯での測定ー	○原 知輝・大塚 壮一・石原 日出一（埼玉大学大学院理工学研究科）
1C1026	川崎市におけるフロン類の大気環境調査	○池田 好美・吉川 奈保子・西村 和彦・青木 和昭（川崎市公害研究所）
1C1039	我が国における摂取比率(Intake Fraction, iF)の有用性の検討ー自動車排出ガスを対象としてー	○岩田 智秀・中井 里史（横浜国立大学大学院環境情報学府）

座長：速水 洋（電力中央研究所）

1C1100	放射性セシウムで汚染した瓦礫を焼却処理した時に排出される粒子の大気環境への影響	○伊藤 憲男・溝畑 朗（大阪府立大学）
1C1113	千葉県における大気中水銀濃度過去10年間の経年変化	○石井 栄勇（千葉県環境研究センター）・猪野 正和・依田 彦太郎（元環境研究センター）
1C1126	大気中粒子状水銀の粒径分布	○川口 佳菜・福崎 紀夫（新潟工科大学工学研究科）
1C1139	調査結果から推測される有害大気汚染物質別の発生源距離	○梅沢 夏実・竹内 庸夫・松本 利恵・米持 真一・佐坂 公規・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）

D会場（2 手法-1 計測分析）

座長：定永 靖宗（大阪府立大学大学院）

1D1000	無動力空気採取装置の開発とその応用	○天谷 和夫
1D1013	種々の大気汚染簡易測定器を用いた市民による大気汚染常時監視と啓蒙活動	○天谷 和夫
1D1026	市民による放射能測定に用いる簡易化学線量計の改良	○天谷 和夫
1D1039	大気常時監視測定機器の放射線による影響	○渡邊 善之・渡邊 明（福島大学大学院）・小島 央・五十嵐 俊則（元福島県環境センター）・枘田 秀明（元福島県郡山公害対策センター）

座長：山本 勝彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）

1D1100	環境大気常時監視におけるオゾン測定精度の実態	○三阪 和弘・藤村 満（グリーンブルー株式会社）
1D1113	環境大気常時監視におけるNO _x 測定精度の実態(1)	○藤村 満・三阪 和弘（グリーンブルー（株））
1D1126	環境大気常時監視におけるNO _x 測定精度の実態(2)	○藤村 満・三阪 和弘（グリーンブルー（株））
1D1139	ブロードバンドキャビティエナハンスト吸収分光法を用いた窒素酸化物測定装置の開発	○中嶋 吉弘・梶井 克純・有馬 光（首都大学東京）
1D1152	発光ダイオード誘起蛍光法を用いた大気中NO ₂ 濃度測定装置の開発	○鈴木 一成・定永 靖宗・坂東 博（大阪府立大学）

E会場（5物質-1 ガス状物質）

座長：松本 淳（早稲田大学人間科学学術院）

1E1000	埼玉県騎西町における夏期の大気中ガスおよび粒子状成分濃度調査(2)	○松本 利恵・梅沢 夏実・米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）
1E1013	種々の物質上におけるNO ₂ からの亜硝酸の生成	○今西 克磨・藤原 和己・竹中 規訓・定永 靖宗・坂東 博（大阪府立大学大学院工学研究科）
1E1026	杉木粉による二酸化窒素除去機構の研究	○酒巻 剣・竹中 規訓・定永 靖宗・坂東 博（阪府大工）
1E1039	窒素酸化物共存下におけるテルペン類のオゾン酸化反応による二次生成物質および微小粒子の生成について	○野口 美由貴・小松 志織・山崎 章弘（成蹊大学）

座長：山口 高志（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）

1E1100	首都圏西部小規模森林における生物起源揮発性有機化合物(BVOCs)の大気動態(3)	○鈴木 佳祐・大河内 博・緒方 裕子（早大創造理工工）
1E1113	東京都内における大気中の揮発性有機化合物に関する調査	○内田 悠太・石井 康一郎・上野 広行・齋藤 伸治・横田 久司・秋山 薫（（公財）東京都環境公社 東京都環境科学研究所）
1E1126	ディーゼル排出ガス中の有機酸濃度測定	○齋藤 育江・大貫 文・保坂 三継・小縣 昭夫・中江 大（東京都健康安全研究センター）
1E1139	千葉県の大气中のベンゼンについて	○渡邊 剛久・内藤 季和（千葉県環境研究センター）
1E1152	大気中における不飽和脂肪酸有機ケイ素化合物とOHラジカルとの反応の速度(2)	○大塚 壮一・寺山 智史・石原 日出一（埼玉大学大学院理工学研究科）

F会場（5物質-2 粒子状物質）

座長：飯島 明宏（高崎経済大学）

1F1000	小規模森林におけるエアロゾル粒子の鉛直分布観測による樹冠捕捉効果	○緒方 裕子・大河内 博（早稲田大学創造理工学部）・三浦 和彦（東京理科大学理学部）
1F1013	エアロゾルの人為的発生源から海洋へ供給される可溶性鉄に関するモデル解析	○伊藤 彰記（海洋研究開発機構）
1F1026	最新直噴ガソリン乗用車から排出される微粒子の有効密度測定	○藤谷 雄二・小林 伸治・近藤 美則・伏見 暁洋（国立環境研究所）・斉藤 勝美（環境計測株式会社）・高見 昭憲・田邊 潔（国立環境研究所）
1F1039	京都大学原子炉実験所における微小粒子状物質の中性子放射化分析の検討	○宮田 賢（住重試験検査株式会社）

座長：藤谷 雄二（国立環境研究所）

1F1100	抽出方法による腐植様物質の構造特性の違い	○浅川 大地（大阪市立環境科学研究所）
1F1113	愛媛県松山市におけるPM2.5の測定	○岡崎 友紀代・若松 伸司（愛媛大学農学部大気環境科学研究室）
1F1126	成田空港におけるPM2.5短期測定(その2)	○斎藤 正義・村上 知史・篠原 直明（財団法人成田国際空港振興協会）・柏葉 信一・岩澤 克司（成田国際空港株式会社）
1F1139	姫路市における大気粒子の通年観測で捉えた黄砂粒子の特徴	○齋藤 勝美（環境計測）・島 正之・余田 佳子（兵庫医科大学）・中坪 良平・常友 大資・平木 隆年（兵庫県環境研究センター）・世良 耕一郎（岩手医科大学）・美和 千裕（富士通クオリティ・ラボ・環境センター）
1F1152	福岡における黄砂観測時のPM2.5中多環芳香族炭化水素類の濃度上昇について	○山本 重一・力 寿雄・下原 孝章・兼保 直樹（福岡県保健環境研究所）高見 昭憲・佐藤 圭（国立環境研究所）・畠山 史郎（東京農工大学）

ポスター発表（第1日目 9月12日（水）午後13:00-14:30）於：23号館2F

P-01	シックハウス症候群の評価のための室内暴露評価ツールの開発	○東野 晴行・篠崎 裕哉・梶原 秀夫（（独）産業技術総合研究所）
P-02	拡散サンプラーを用いた室内環境中の化学物質実態調査	○坂元 宏成・木原 顕子・都竹 豊茂（千葉市環境保健研究所）・内山 茂久（国立保健医療科学院）
P-03	室内空気中に存在する化学物質の拡散サンプラーを用いた測定－無機ガス状物質－	○所 翌萌（千葉大学）・内山 茂久・稲葉 洋平（国立保健医療科学院）・中込 秀樹（千葉大学）・樺田 尚樹（国立保健医療科学院）
P-04	室内空気中に存在する化学物質の拡散サンプラーを用いた測定－揮発性有機化合物－	○富澤 卓弥（東京薬科大学）・内山 茂久・稲葉 洋平（国立保健医療科学院）・太田 敏博（東京薬科大学）・樺田 尚樹（国立保健医療科学院）
P-05	室内空気中に存在する化学物質の拡散サンプラーを用いた測定－カルボニル化合物およびオゾン－	○菱木 麻佑（麻布大学）・内山 茂久・稲葉 洋平（国立保健医療科学院）・後藤 純雄（麻布大学）・樺田 尚樹（国立保健医療科学院）
P-06	空気中ジアルデヒド類の2,4-ジニトロフェニルヒドラジン及び2-ピコリンボランを用いた還元アミノ化による分析	○太田 和司（千葉大学）・内山 茂久・稲葉 洋平（国立保健医療科学院）・中込 秀樹（千葉大学）・樺田 尚樹（国立保健医療科学院）
P-07	西宮市の幹線道路沿道における大気粒子状物質中水溶性イオン成分の特徴	○黄 誠金・島 正之・唐 寧・余田 佳子（兵庫医科大学公衆衛生学講座）
P-08	愛媛県松山市の沿道における自動車排気ガスの排出量推計	○岡田 はるか・神田 勲・岡崎 友紀代・西川 敦・若松 伸司（愛媛大学大気環境科学研究室）
P-09	大気環境情報発信システムの構築に関する検討	○松本 文雄（岩手県環境保健研究センター）・齊藤 真・津志田 匡史・大塚 尚寛（岩手大学工学部）
P-10	三重県におけるベンゾ(a)ピレンの状況について	○佐来 栄治・西山 亨・寺本 佳宏（三重県保健環境研究所）・荒木 真（大津市保健所）
P-11	バリオグラム解析による都市大気汚染の空間スケールの推定	○山本 浩平・東野 達（京都大学）
P-12	衛星画像を利用したRegression Kriging法による大気汚染物質濃度の空間分布推定手法の検討	○荒木 真（大津市保健所）・山本 浩平・東野 達（京都大学）
P-13	ダウンスケール気象データを用いた東北地方における夏季の大気汚染物質濃度と気象要素の地域性の検討	○大久保 さゆり（（独）農研機構 東北農業研究センター）
P-14	関東北部山岳域におけるオゾンの高濃度要因について	○武 直子・大泉 毅（一般財団法人日本環境衛生研究センターアジア大気汚染研究センター）・大原 利真（独立行政法人国立環境研究所）・村山 等（新潟県保健環境科学研究所）
P-15	Ambient air concentrations of polycyclic aromatic hydrocarbons in Freetown, Sierra Leone	○Taylor Eldred・中井 里史（横浜国立大学大学院環境情報学府）
P-16	埼玉県の大気環境中における酸化エチレン濃度の経年変動	○佐坂 公規・梅沢 夏実（埼玉県環境科学国際センター）
P-17	車載移動観測によるオゾン濃度分布の測定	○岡崎 友紀代・神田 勲・若松 伸司（愛媛大学農学部大気環境科学研究室）
P-18	メキシコ3大都市圏における大気汚染物質の解析	○岡崎 友紀代・ベニーテス ガルシア サンディエディス・神田 勲・若松 伸司（愛媛大学農学部大気環境科学研究室）
P-19	日本とメキシコにおけるオゾンの垂直分布の比較	○久保 龍志・神田 勲・岡崎 友紀代・若松 伸司（愛媛大学農学部大気環境科学研究室）
P-20	松山市のヒートアイランド現象の計測	○水口 結貴・西川 敦・岡崎 友紀代・若松 伸司（愛媛大学農学部大気環境科学研究室）
P-21	近年の東京周辺の猛暑と広域気象条件	○吉門 洋（埼玉大学理工学研究科）
P-22	大阪地域における都市表面高反射率化が汚染濃度場に与える影響のモデル解析	○安田 龍介（大阪府立大学）
P-23	熱中症予防対策のための簡易大気熱環境指標の検討と予防情報の発信に関する検討	○米倉 哲志（埼玉県環境科学国際センター）

P-24	2012年3月の東シナ海上空における長距離越境汚染の航空機観測—金属元素の分布と変化	○古賀 美也子・畠山 史郎・島田 幸治郎・田辺 美保（東京農工大学）・定永 靖宗・藤原 大・坂東 博（大阪府立大学）・張 代洲（熊本県立大学）・瀬戸 章文（金沢大学）・加藤 俊吾・梶井 克純（首都大学東京）・清水 厚・杉本 伸夫・高見 昭憲（国立環境研究所）・新垣 雄光（琉球大学）
P-25	2012年3月の東シナ海上空における長距離越境大気汚染の航空機観測—イオン成分の分布と変化	○田辺 美保・畠山 史郎・島田 幸治郎・古賀 美也子（東京農工大学）・定永 靖宗・藤原 大・坂東 博（大阪府立大学）・張 代洲（熊本県立大学）・瀬戸 章文（金沢大学）・加藤 俊吾・梶井 克純（首都大学東京）・清水 厚・杉本 伸夫・高見 昭憲（国立環境研究所）・新垣 雄光（琉球大学）
P-26	東アジアから北部九州および沖縄に飛来するエアロゾルイオン成分とその変動	○湯本 弥生（東京農工大学院）・吉野 彩子（東京農工大学）・兼保 直樹（産業技術総合研究所）・高見 昭憲（国立環境研究所）・畠山 史郎（東京農工大学）
P-27	北部九州域の大気エアロゾルの統計解析手法を用いた発生源推定	○鈴木 亮太・吉野 彩子（東京農工大学）・兼保 直樹（産業技術総合研究所）・高見 昭憲（国立環境研究所）・畠山 史郎（東京農工大学）
P-28	2011年秋季の福江島におけるPM2.5濃度及び成分のモデルの再現性	○池田 恒平・竹谷 文一・山地 一代・金谷 有剛（海洋研究開発機構）・黒川 純一（アジア大気汚染研究センター）・大原 利眞（国立環境研究所）
P-29	2010年の夏および秋の沖縄辺戸岬における大気中の過酸化水素濃度の変動	○宇津木 顕・畠山 史郎（東京農工大学大学院農学研究院）
P-30	黄砂表面における多環芳香族炭化水素酸化誘導体の二次生成	○亀田 貴之・片山 裕規（金沢大学）・唐 寧（兵庫医科大学）・鳥羽 陽・早川 和一（金沢大学）
P-31	黄砂粒子表面における多環芳香族炭化水素の特異的二酸化	○福島 杏希（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻）・亀田 貴之（金沢大学医薬保健研究域薬学系）・唐 寧（兵庫医科大学）・鳥羽 陽・早川 和一（金沢大学医薬保健研究域薬学系）
P-32	多環芳香族炭化水素の光分解速度に基づく越境汚染指標の検討	○中村 志歩・（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻）・早川 和一・亀田 貴之（金沢大学医薬保健研究域薬学系）・嵐谷 奎一（産業医科大学）・鳥羽 陽（金沢大学医薬保健研究域薬学系）
P-33	北海道母子里での大気微量成分の長期変動傾向	○加藤 俊吾（首都大学東京 都市環境学部）ジーラ ナット スタワリー・梶井 克純（京都大学大学院地球環境学堂）・瀬良 正幸・松見 豊（名古屋大学太陽地球環境研究所）
P-34	西日本におけるNO _y および全硝酸の挙動と広域分布	○定永 靖宗・弓場 彬江・宮本 脩詩・増井 嘉彦・井関 将太（大阪府立大学）高見 昭憲・大原 利眞・横内 陽子（国立環境研究所）・米村 正一郎（農業環境技術研究所）・松木 篤・岩坂 泰信（金沢大学）・佐藤 啓市（アジア大気汚染研究センター）・加藤 俊吾・梶井 克純（首都大学東京）・畠山 史郎（東京農工大学）・坂東 博（大阪府立大学）
P-35	沖縄辺戸岬における炭素質エアロゾルの長期トレンド	○島田 幸治郎（東京農工大学）・高見 昭憲（国立環境研究所）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・加藤 俊吾・梶井 克純（首都大学東京）・伏見 暁洋（国立環境研究所）・畠山 史郎（東京農工大学）
P-36	国内サイトにおける降水中及びエアロゾル中炭素成分の特徴	○霍 銘群・佐藤 啓市・大泉 毅・秋元 肇（アジア大気汚染研究センター）・高橋 克行（日本環境衛生センター）
P-37	ディーゼル排気粒子中PAHの加熱脱着-GC/MS法による分析の特徴	○塩谷 健二・柴田 慶子・柳沢 伸浩（いすゞ中央研究所）
P-38	SHARPモニターを用いたPM2.5成分分析の評価	○竹谷 文一・池田 恒平・金谷 有剛（海洋研究開発機構）
P-39	質量分析計を用いた実時間型エアロゾル組成計測器の新規開発(1): 粒子トラップの設計概念	○宮川 拓真（東京大学先端科学技術研究センター）・武田 直希・武居 正彦・平山 紀友（富士電機株式会社）・竹川 暢之（東京大学先端科学技術研究センター）
P-40	水俣市における大気中のガス状酸化態水銀および粒子状水銀の通年観測	○丸本 幸治（国立水俣病総合研究センター）・長坂 洋光・服部 達也（いであ株式会社 環境創造研究所）
P-41	横浜市内における浮遊粒子状物質の粒径ごとの組成分析	○小山 慎一・桧皮 勇美・横山 容子・大西 裕介・森田 利恵（ムラタ計測器サービス株式会社）

P-42	微小粒子状物質中レボグルコサンのLC-MS/MSを用いた分析法の検討	○小西 千絵・代田 千秋・宝輪 勲・倉重 千恵子（ムラタ計測器サービス株式会社）
P-43	環境大気中の有害大気汚染物質と含酸素化合物の一斉分析	○小野 由紀子・古館 肇・山上 仰（西川計測株式会社）
P-44	キャニスター法によるVOCs測定における冷却条件の検討	○飯村 文成・鎌滝 裕輝（東京都環境局）
P-45	CRD分光法を利用したアンモニアガス測定装置による基礎的条件の検討	○遠藤 直也（法政大学大学院工学研究科）・橋本 茂・向井 人史（国立環境研究所）・村野 健太郎（法政大学）
P-46	同化箱を用いて測定した数種落葉広葉樹の葉のオゾン吸収と純光合成との関係	○松村 秀幸（電力中央研究所）・伊豆田 猛（東京農工大学）
P-47	遺伝子発現による植物のストレス診断はどこまで出来るか？	○青野 光子（国立環境研究所）・三輪 誠（埼玉県環境科学国際センター）・岡崎 淳（千葉県環境研究センター）・武田 麻由子・小松 宏昭（神奈川県環境科学センター）・山神 真紀子・中島 寛則・岡村 祐里子（名古屋環境科学調査センター）・須田 隆一・中村 朋史（福岡県保健環境研究所）・古川 誠・柳沼 圭吾・渡邊 稔（福島県環境センター）・横山 仁（東京都環境科学研究所）・久保 明弘・佐治 光（国立環境研究所）
P-48	栽培時期が異なるホウレンソウに対するオゾンの影響 ―葉に発現する可視被害と気孔密度との関係に着目して―	○三輪 誠・印南 ゆかり（埼玉県環境科学国際センター）
P-49	葉に発現する可視被害の程度に基づいたコマツナの種類間オゾン感受性差異の評価	○印南 ゆかり・三輪 誠（埼玉県農林総合研究センター）
P-50	FACE (Free Air CO ₂ Enrichment) による高CO ₂ 環境で育成したカバノキ属3種の光合成特性	○渡辺 誠・高木 健太郎・佐藤 冬樹・小池 孝良（北海道大学）
P-51	開放系オゾン暴露装置における落葉広葉樹の光合成機能に与えるオゾンの影響	○稲田 直輝・星加 康智・渡辺 誠・小池 孝良（北海道大学大学院）
P-52	里山の生態系サービスと窒素飽和現象(2)	○江口 裕之（早稲田大学大学院）・大河内 博・緒方 裕子（早大創造理工）・宮崎 あかね（日本女子大理）
P-53	富士山体を利用した自由対流圏大気中酸性ガスおよびエアロゾルの観測(2)	○磯部 貴陽・大河内 博・緒方 裕子（早大創造理工）・皆巳 幸也（石川県立大）・田原 大祐・丸山 祥平（早大創造理工）
P-54	立山における霧水・降水・露水化学および大気エアロゾルの観測	○渡辺 幸一（富山県立大学）・朴木 英治（富山県科学博物館）・曹 仁秋（東京ダイレック株式会社）
P-55	丹沢山塊における大気汚染物質の標高ごとの沈着挙動	○小島 杏介・与口 建・南齋 勉・井川 学（神奈川大学工学部）
P-56	酸性霧の化学組成と酸性化機構(29)	○鈴木 翔・吉本 治・南齋 勉・井川 学（神奈川大学工学部）
P-57	新潟県における酸性雨モニタリングについて(平成17-21年度結果)(第2報)	○遠藤 朋美（新潟県保健環境科学研究所）・江端 英和（新潟県環境対策課）・武 直子（アジア大気汚染研究センター）・家合 浩明・村山 等（新潟県保健環境科学研究所）
P-58	横浜における降水の組成の特徴と越境汚染の影響	○入澤 則行・南齋 勉・井川 学（神奈川大学工学部）
P-59	北海道内積雪成分の長期変動について	○山口 高志・野口 泉・秋山 雅行・大塚 英幸（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）
P-60	島根県における酸性雨の地域特性について	○田部 貴大・高木 智史・小林 優太（島根県保健環境科学研究所）・原 宏（東京農工大）・後藤 宗彦（島根県保健環境科学研究所）
P-61	東アジアの降水pHへのCWT (Concentration Weighted Trajectory)解析の応用	○北山 響（東京農工大学）・村尾 直人（北海道大学）・山下 雄太郎・原 宏（東京農工大学）
P-62	大気中多環芳香族炭化水素の降水洗浄機構と森林樹冠への乾性沈着量の推計(2)	○藤田 雅俊（早稲田大学大学院）・大河内 博・緒方 裕子（早稲田大学）
P-63	首都圏小規模森林における大気中酸性物質の樹冠フィルター効果と乾性沈着量の評価(2)	○高田 賢・大河内 博・緒方 裕子（早稲田大学大学院創造理工学研究科）
P-64	森林内におけるオゾン濃度の鉛直プロファイルの季節変動	○大原 信（電力中央研究所）・木村 祐紀（東京農工大学）・高橋 章（電力中央研究所）・野口 泉（北海道立総合研究機構）・木村 園子・原 宏（東京農工大学）

P-65	タイ国サケラートの熱帯林におけるエアロゾルの沈着速度－2年間の観測結果－	○加藤 なつ美・松田 和秀（明星大学大学院理工学研究科）・佐瀬 裕之（アジア大気汚染研究センター）・村尾 直人・深澤 達矢（北海道大学）
P-66	秋田県の山岳地における積雪中の微量元素およびイオン成分	○木口 倫（秋田県立大学生物資源科学部）・小林貴司（秋田県健康環境センター）・田近 譲・大澤寿・吉田 知広・吉田 真・西川 裕之・中村 達弥・高橋 政之・長沼 隆（株式会社秋田県分析化学センター）
P-67	ブラックカーボンとカリウムの相関について－バイオマス燃焼の影響－	○野口 泉・山口 高志・秋山 雅行・川村 美穂（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）・村尾 直人・高木 健太郎・柴田 英昭・福澤 加里部・本多 宏充（北海道大学）
P-68	九州中部の山岳における光化学オキシダント濃度調査による越境移流及び地域内生成割合の評価	○村岡 俊彦・北岡 宏道・林 英明・豊永 悟史（熊本県保健環境科学研究所）
P-69	関東中央部における近年の広域高濃度日Ox出現に関わる気象構造	○西田 由佳（埼玉大学 理工学研究科）
P-70	光化学反応によるベンゼン、トルエンの水素安定同位体の同位体効果	○菊池 奈美・川島 洋人（秋田県立大学）
P-71	HCFC-123とHCFC-225caの加水分解反応(OH-反応)速度定数の決定	○忽那 周三（独立行政法人産業技術総合研究所）
P-72	塗装から発生する代替VOCの安全性	○古賀 賢一（福岡県工業技術センター）
P-73	横浜と丹沢大山における揮発性有機化合物の分析と濃度支配的要因	○渡辺 征太郎・森 孝・南齋 勉・井川 学（神奈川大学 工学部）
P-74	都市大気におけるサブミクロン粒子の特性比較	○柳本 悠輔（早稲田大学創造理工学研究科）・米持真一（埼玉県環境科学国際センター）・名古屋 俊士（早稲田大学創造理工学研究科）
P-75	ヘリコプターを利用した富山県上空の微量気体成分の測定	○渡辺 幸一（富山県立大学）
P-76	間接吸光検出イオンクロマトグラフィーによる個人オゾン曝露の評価	○唐 寧・余田 佳子・黄 誠金（兵庫医科大学）・亀田 貴之・鳥羽 陽・早川 和一（金沢大学）・○島 正之（兵庫医科大学）
P-77	シマミズビの忌避行動を利用したガス状汚染物質の有害性評価の検討	○山本 晃嗣・樋口 隆哉（山口大学）
P-78	沖縄辺戸岬で採取した大気エアロゾルの化学成分について（2005-2011）	○新垣 雄光（琉球大学理学部）
P-79	大気エアロゾル中の有機態窒素に関する研究	○山本 裕也・松本 潔・小林 拓（山梨大学大学院医学工学総合教育部）・入野 智久（北海道大学大学院）・兼保 直樹（産業技術総合研究所）・中野 隆志（山梨県環境科学研究所）
P-80	界面活性物質の大気圏動態と大気環境影響(2)	○曾田 美夏・大河内 博・緒方 裕子（早大創造理工）
P-81	PM2.5測定における採取時間の問題	○紀本 英志・植田 明子・辻本 賢太・三谷 洋一・戸矢崎 保雄・紀本 岳志（紀本電子工業株式会社）
P-82	大気エアロゾル化学成分連続自動分析装置による大阪での観測結果	○辻本 賢太・植田 明子・三谷 洋一・戸矢崎 保雄・紀本 英志・紀本 岳志（紀本電子工業株式会社）
P-83	横浜と丹沢大山における大気中エアロゾル及び微量ガスの成分分析と濃度支配要因	○伊能 浩一・長野 敏行・入澤 則行・南齋 勉・井川 学（神奈川大学工学部）
P-84	新潟県におけるNILUサンプラーを用いたPM2.5調査について	○家合 浩明（新潟県保健環境科学研究所）・江端英和（新潟県環境対策課）・武 直子（アジア大気汚染研究センター）・村山 等（新潟県保健環境科学研究所）
P-85	炭素安定同位体比を用いた粒子状物質の越境汚染の解明～日本海沿岸地域と関東地域との比較～	○須藤 菜那・川島 洋人（秋田県立大学）
P-86	福岡、名古屋、諏訪におけるTSP中の放射性同位炭素(14C)と炭素成分組成	○池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター・名古屋大学大学院環境学研究科）・肥後 隼人（福岡市保健環境研究所）・宮原 裕一（信州大学山岳科学総合研究所）・中島 大介（国立環境研究所）・中村 俊夫（名古屋大学年代測定総合研究センター）
P-87	三重県北部地域におけるPM2.5環境濃度測定の簡易法と標準法との比較(第2報)	○西山 亨・佐来 栄治・寺本 佳宏（三重県保健環境研究所）

P-88	道路近傍からの距離にともなうPM2.5およびPM0.1の化学成分変化	○関口 和彦（埼玉大学大学院理工学研究科）・木下勝利史（日本環境衛生センター）・金 庚煥（韓国科学技術研究院）・工藤 慎治（国立環境研究所）・王青躍（埼玉大学大学院理工学研究科）
P-89	道路近傍および都市部郊外における大気中PAHsの濃度ならびに発がんリスク	○川中 洋平・尹 順子（株式会社 環境管理センター）
P-90	微小粒子状物質等大気汚染物質による小児の肺機能発達への影響に関するコホート研究(第1報):研究デザイン	○武林 亨・朝倉 敬子（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学）・新田 裕史・竹内 文乃・上田 佳代（国立環境研究所 環境健康研究センター）・小田嶋 博（国立病院機構 福岡病院）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・塚原 照臣（信州大学医学部 衛生学公衆衛生学講座）・今野 哲（北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学）・森川 みき（森川小児科クリニック）・向井 奉文（医療法人奎英会 むかいクリニック）・吉村 健清（福岡女子大学）
P-91	黄砂と卵白アルブミンの長期曝露がマウスの好酸球性肺炎に与える影響	○賀 森・市瀬 孝道・吉田 成一（大分県立看護科学大学）・西川 雅高（国立環境研究所）高野 裕久（京都大学 工学研究科 都市環境工学専攻環境衛生学講座）
P-92	大気粉塵の化学成分及び生物活性の季節的変動	○渡辺 徹志・長谷井 友尋（京都薬科大学）・木戸瑞佳・相部 美佐緒（富山県環境科学センター）・湊沙花（鳥取県衛生環境研究所）・世良 暢之（福岡県保健環境研究所）船坂 邦弘・浅川 大地（大阪市立環境科学研究所）・池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）渡部 仁成（鳥取大学）
P-93	札幌市内の住宅地における大気浮遊粉じんの長期変動	○酒井 茂克・芥川 智子（（地独）北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）濱 寛貴・早川 和一（金沢大学医薬保健研究域）
P-94	鉛グリッド排出量の精度向上による大気中鉛濃度推定	○恒見 清孝・川本 朱美（産業技術総合研究所）・福井 哲央（計量計画研究所）
P-95	重金属の大気中濃度推定におけるAIST-ADMERの適用可能性に関する基礎的検討:カドミウムを例に	○小野 恭子（（独）産業技術総合研究所 安全科学研究部門）
P-96	埼玉県所沢市で採取した大気粉じん中の希土類元素組成の特徴	○本多 将俊（環境省環境調査研修所）
P-97	震災がれき集積場におけるアスベスト粉じんの飛散状況	○中村 憲司（独立行政法人労働安全衛生総合研究所）
P-98	千葉県の環境放射能調査	○井上 智博・内藤 季和・渡邊 剛久・石井 栄勇（千葉県環境研究センター）

<第1日目 9月12日(水)午後>

A会場 (3 影響-1 生体)

座長：古山 昭子 (国立環境研究所)

1A1440	Prevalence of acute respiratory infections in women and children potentially caused by smoke from solid fuels in a developing country	○Taylor Eldred・中井 里史 (横浜国立大学大学院環境情報学府)
1A1453	ヒト健康リスク低減に対するVOC排出削減対策の費用効果分析 ―自動車塗装での各種対策を例に―	○梶原 秀夫・高井 淳・井上 和也・東野 晴行 (産業技術総合研究所)
1A1506	亜硝酸と喘息症状の関連性に関する疫学的事例調査	○大山 正幸・中島 孝江 (大阪府立公衆衛生研究所)・竹中 規訓・永田 真・酒巻 剣 (大阪府立大学)・岡 憲司 (旧大阪府環境農林水産総合研究所)・東 賢一 (近畿大学)・峰島 知芳 (東京農工大学)・森永 謙二 (労働安全衛生総合研究所)・坂東 博 (大阪府立大学)
1A1519	大気中オゾン濃度と気管支喘息発作との関連に関する疫学研究: 姫路市における長期的観察	○島 正之・余田 佳子・唐 寧 (兵庫医科大学)・齊藤 勝美 (環境計測株式会社)・中坪 良平・常友 大資・平木 隆年 (兵庫県環境研究センター)
1A1532	児童生徒のぜん息被患率と大気汚染の相関 ―都市階級別被患率の経年変化を中心に―	○喜多 善史・長野 晃 (公害環境測定研究会大阪)

B会場 (1 空間-1 室内)

座長：水越 厚史 (東京都立産業技術研究センター)

1B1453	ホタテ貝殻の粉末を用いた室内空気汚染対策	○小竿 真一郎 (日本工業大学)
1B1506	線香のにおいの除去に関する研究(2)	○福井 啓太・岡田 誠之 (東北文化学園大学)
1B1519	生活スタイルと室内臭気の関係性	○中村 祐子・北島 幸太郎・皆川 和則・長谷川 靖之 (小林製薬株式会社 芳香・消臭剤開発G)

C会場 (1 空間-4 都市・地域)

座長：板野 泰之 (大阪市立環境科学研究所)

1C1440	ドップラーソーダによる都市上空の乱流観測	○青木 智和 (日本気象株式会社)・河野 仁 (兵庫県立大学)・伊藤 芳樹 (株式会社ソニック)
1C1453	東京周辺の猛暑の近年の出現傾向	○吉門 洋 (埼玉大学理工学研究科)
1C1506	都市上空における大気質の定点観測について	○速水 洋・藤田 慎一 (電力中央研究所)
1C1519	広域大気モデルADMER-PRO(Ver.1.0)の開発と検証	○井上 和也・東野 晴行 (産総研)

D会場 (5 物質-3 酸性雨)

座長：中村 雅和 (宮崎県衛生環境研究所)

1D1440	立山・室堂平における積雪中の化学成分の特徴	○渡辺 幸一・西元 大樹 (富山県立大学)
1D1453	富士山体を利用した雲水化学特性とその濃度支配要因の解明(4)	○田原 大祐・大河内 博・緒方 裕子 (早大創造理工)・皆巳 幸也 (石川県立大)
1D1506	東丹沢における渓流水中微量金属元素の流出挙動と酸性沈着の影響評価(6)	○米山 直樹・大河内 博・大西 俊朗・緒方 裕子 (早稲田大学大学院創造理工学研究科)・井川 学 (神奈川大学工学部)
1D1519	日本海側小集水域における大気沈着と溪流化学性の10年間の推移	○佐瀬 裕之 (アジア大気汚染研究センター)・中田 誠 (新潟大学)・武 直子 (アジア大気汚染研究センター)・家合 浩明 (新潟県保健環境科学研究所)・大泉 毅 (アジア大気汚染研究センター)・松田 和秀 (明星大学)
1D1532	近畿圏2ヶ所のモミジ林の衰退と土壌酸性化	○伊藤 和男 (大阪府立大学高専)

E会場（5 物質-1 ガス状物質）

座長：野口 美由貴（成蹊大学）

1E1440	福島県内陸域における高濃度オゾンの出現	○渡邊 善之・渡邊 明（福島大学大学院）
1E1453	関東中央部における夏期高濃度Oxの発生地域・時刻と気象条件の変遷に関する長期解析	○高橋 宏明・吉門 洋（埼玉大学）
1E1506	夜間のオキシダント濃度変動による越境大気汚染の評価	○山本 重一・下原 孝章（福岡県保健環境研究所）
1E1519	レーザー誘起蛍光法NO ₂ 計に基づくポテンシャルオゾン測定装置の改良と実大気観測試験	○松本 淳（早稲田大学人間科学学術院）
1E1532	パッシブサンプラーを用いた北海道の春季オゾン濃度測定	○山口 高志・野口 泉・秋山 雅行・酒井 茂克（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）

F会場（5 物質-2 粒子状物質）

座長：齊藤 勝美（環境計測（株））

1F1440	堺市におけるPM2.5中の炭素成分の特徴	○松本 淳子・溝畑 朗・伊藤 憲男（大阪府立大学地域連携研究機構）
1F1453	東京都におけるPM2.5中の炭素成分について	○秋山 薫・上野 広行・横田 久司・石井 康一郎（公益財団法人東京都環境公社東京都環境科学研究所）・三好 猛雄（国立環境研究所）・内田 悠太・齋藤 伸治（公益財団法人東京都環境公社東京都環境科学研究所）
1F1506	群馬県における微小粒子状物質中レボグルコサンの季節変動	○熊谷 貴美代・一条 美和子（群馬県衛生環境研究所）
1F1519	誘導体化-加熱脱着GC/MSによるPM2.5中有機成分の分析	○上野 広行・横田 久司・石井 康一郎・秋山 薫・齋藤 伸二・内田 悠太（東京都環境科学研究所）・名古屋 俊士（早稲田大学）
1F1532	粒子状炭素成分測定におけるアーティファクトの影響検討(2)	○長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）

<第2日目 9月13日(木) 午前>

A会場(2手法-5シミュレーション)

座長: 森 康彰(日本気象協会)

2A0900	大型風車後方の風速の回復	○松本 幸雄(統計数理研究所)
2A0913	GEOS-Chem-Hgモデルによる大気-海洋-陸域間の水銀循環のシミュレーション—計算条件の検討—	○菊地 哲郎・池本 久利・高橋 克行・羽染 久・植田 洋匡(一般財団法人日本環境衛生センター)
2A0926	LESIによる3次元都市キャニオン内からの汚染物質放出挙動の検討	○道岡 武信・佐藤 歩(電力中央研究所)
2A0939	実在都市キャニオン内の流れ場に関する検討(その3) 一温熱環境評価のためのRANS—	○道岡 武信・佐藤 歩(電力中央研究所)・香月 壮亮(福井工業高専)

座長: 板橋 秀一(九州大学大学院)

2A1000	北京での炭素性エアロゾルの発生源解析	○森野 悠・大原 利真(国立環境研究所)・長谷川 就一(埼玉県環境科学国際センター)・伏見 暁洋・田邊 潔(国立環境研究所)・山地 一代(海洋研究開発機構)・近藤 美由紀(国立環境研究所)・B. Zhao・J. Xu・J. Hao(清華大学)
2A1013	ボックスモデル上での二次有機エアロゾルモデルの比較・検討	○森野 悠・田邊 潔・大原 利真(国立環境研究所)
2A1026	2020年度日本三大都市圏PM2.5濃度と発生源感度予測	○茶谷 聡(豊田中央研究所)・森川 多津子(日本自動車研究所)・中塚 誠次(NTTデータCCS)・松永 壮(北海道大学)
2A1039	日本国内生物起源VOC排出量インベントリの構築と大気質予測への影響評価	○茶谷 聡(豊田中央研究所)・松永 壮(北海道大学)・中塚 誠次(NTTデータCCS)

座長: 森野 悠(国立環境研究所)

2A1100	感度解析手法HDDMを用いた東アジア域光化学オゾンの発生源寄与の季節変動	○板橋 秀一(九州大学大学院総合理工学府)・鶴野 伊津志(九州大学応用力学研究所)・Kim Soontae(亜州大学)
2A1113	埼玉県におけるOSAT法を用いた光化学オキシダント発生源寄与解析	○大島 慎也(埼玉県大気環境課)・森 康彰・河見 博文(日本気象協会)
2A1126	埼玉県内の光化学オキシダント濃度に与えるNOx-VOC排出量削減効果の検討	○西川 達弥(埼玉県大気環境課)・森 康彰・河見 博文(日本気象協会)
2A1139	局所CO ₂ 輸送モデルへの生態系吸収・発生源の組み込み	○近藤 裕昭(産業技術総合研究所)
2A1152	JATOP 自動車以外排出量推計の成果と課題	○中塚 誠次(株式会社 NTTデータCCS)・森川 多津子(日本自動車研究所)・茶谷 聡(豊田中央研究所)・松永 壮(北海道大学)

B会場(2手法-1計測分析)

座長: 宮川 拓真(東京大学先端科学技術研究センター)

2B0913	人工衛星データMODIS AODと地上常時監視データとの比較について	○山本 勝彦(地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所)・国環研Ⅱ型共同 研究グループ(国立環境研究所)
2B0926	未知HO ₂ 反応性と光化学オキシダント生成への影響評価	○宮崎 洗治(理化学研究所 基幹研究所 光グリーンテクノロジー特別研究ユニット)・中嶋 吉弘(首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 都市環境科学環 分子応用化学域)・井田 明(京都大学大学院 地球環境学 大気環境化学論分野)・加藤 俊吾(首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 都市環境科学環 分子応用化学域)・梶井 克純(京都大学大学院 地球環境学 大気環境化学論分野)
2B0939	アクティブサンプリングによるオゾンの新規簡便測定法の開発	○佐藤 啓市(アジア大気汚染研究センター)・牧野 優樹(新潟大学自然科学研究科)・大泉 毅(大気汚染研究センター)

座長：中嶋 吉弘（首都大学東京）

2B1000	徳島市における大気中酸性ガスの特徴	○竹内 政樹・宮崎 裕樹・田中 秀治（徳島大学）
2B1013	PM2.5中化学イオン成分の自動連続測定装置の開発	○何 家成・田中 茂・奥 真一郎（慶應義塾大学理工学部応用化学科）
2B1026	質量分析計を用いた実時間型エアロゾル組成計測器の新規開発(2):組成定量の初期評価	○宮川 拓真（東京大学先端科学技術研究センター）・武田 直希・武居 正彦・平山 紀友（富士電機株式会社）・竹川 暢之（東京大学先端科学技術研究センター）
2B1039	PM2.5の調査頻度の違いによる比較 ー2週間の季節調査と3日ごとの調査ー	○横山 容子・小山 慎一・桧皮 勇美・大西 裕介・森田 利恵（ムラタ計測器サービス株式会社）

座長：梅沢 夏実（埼玉県環境科学国際センター）

2B1100	優先取組物質の見直しに対応した大気中クロム分析法の検討	○奥田 知明・渡部 功太郎・大久保 圭祐・松浦 慎一郎（慶應義塾大学理工学部）
2B1113	低温捕集型大気サンプラーを用いた海洋調査法の開発	○梅原 秀介（法政大学 工学研究科 物質化学専攻）・山崎 絵里子・山下 信義・谷保 佐知（独立行政法人産業技術総合研究所）・村野 健太郎（法政大学生命科学部）・蒲生 俊敬（東京大学大気海洋研究所）
2B1126	都市大気トレーサーとしてのテトラクロロエチレンの定量に関する研究	○猪股 俊介・大塚 壮一・石原 日出一（埼玉大学大学院理工学研究科）
2B1139	ポリアリルアミンを用いた拡散スクラバーによる空气中アルデヒド除去処理技術の開発	○奥 真一郎・田中 茂・魏 璐（慶應義塾大学理工学部）

C会場（1 空間-4 都市・地域）

座長：市川 陽一（龍谷大学）

2C0900	神奈川県における光化学オキシダント高濃度日数の10年間の経年変化(2000-2010)と変動要因の検討	○阿相 敏明（神奈川県環境科学センター）
2C0913	神奈川県の清浄地域におけるオゾン濃度の経年変化(1996-2011)	○阿相 敏明（神奈川県環境科学センター）
2C0926	兵庫県における光化学オキシダント濃度に及ぼす窒素酸化物の影響(第2報)ー経年トレンドに対する影響評価ー	○坂本 美徳（兵庫県環境研究センター）・近藤 明・井上 義雄（大阪大学）・平木 隆年（兵庫県環境研究センター）
2C0939	埼玉県における近年の光化学オキシダント濃度の推移とその要因	○竹内 庸夫（埼玉県環境科学国際センター）

座長：嶋寺 光（電力中央研究所）

2C1000	VOC(プロピレン)の高濃度汚染イベントにおける一考察	○鎌滝 裕輝・芳住 登紀子（東京都環境局）・内田 悠太（（公財）東京都環境公社東京都環境科学研究所）
2C1013	最近の北九州市地域が多環芳香族炭化水素濃度の特徴	○山根 裕一・嵐谷 奎一・原 悠花里・秋山 幸雄（産業医科大学）・市瀬 孝道（大分県立看護科学大学）・檜崎 幸範（福岡県保健環境研究所）
2C1026	滋賀県瀬田丘陵における大気質評価(2):森内のNO ₂ とO ₃ 濃度の鉛直分布	○西元 将洋・松島 大祐・市川 陽一（龍谷大学）
2C1039	滋賀県瀬田丘陵における大気質評価(3):PM2.5の濃度特性	○市川 陽一・井沼 元希・西元 将洋（龍谷大学）

座長：阿相 敏明（神奈川県環境科学センター）

2C1100	2010年冬季と2011年夏季の関東におけるPM2.5成分の大気質モデルによる再現性	○嶋寺 光・速水 洋（電力中央研究所）・茶谷 聡（豊田中央研究所）・森野 悠大・原 利真（国立環境研究所）・森川 多津子（日本自動車研究所）
2C1113	大気質モデルによる硝酸塩の再現性向上のための感度解析	○嶋寺 光・速水 洋（電力中央研究所）・茶谷 聡（豊田中央研究所）・森野 悠（国立環境研究所）・森 康彰（日本気象協会）・森川 多津子（日本自動車研究所）・山地 一代（海洋研究開発機構）・大原 利真（国立環境研究所）

2C1126	東海地方の都市域と清浄地域におけるPM2.5成分測定 (1)成分濃度の地域特性	○加藤 三奈・梶田 奈穂子・尾崎 聡・柴田 明司 (愛知県環境調査センター)・唐澤 正宜・高須 施 聞・竹川 秀人(株式会社豊田中央研究所)
2C1139	東海地方の都市域と清浄地域におけるPM2.5成分測定 (2) 長距離輸送分と域内発生分	○唐澤 正宜・高須 施聞・竹川 秀人(豊田中央研究 所)・加藤 三奈・梶田 奈穂子・尾崎 聡・柴田 明 司(愛知県環境調査センター)
2C1152	熊本市における近年の黄砂発生の事例解析ー九州地方に おける2008年から2010年までの硫酸塩調査に基づいてー	○福田 照美(熊本市環境総合センター)・岩本 真 二(日本環境衛生センター 西日本支局)・山本 重 一(福岡県保健環境研究所)

D会場 (5 物質-3 酸性雨)

座長：久恒 邦裕 (名古屋市環境科学調査センター)

2D0900	全国酸性雨調査(75)ー湿性沈着ー	○堀江 洋佑((財)ひょうご環境創造協会 兵庫県 環境研究センター)・西山 亨(三重県保健環境研究 所)・岩崎 綾(沖縄県衛生環境研究所)・濱村 研 吾(福岡県保健環境研究所)・山本 陽介(元環境 省)・村野 健太郎(法政大学)[全国環境研協議会 酸性雨広域大気汚染調査研究部会]
2D0913	全国酸性雨調査(76)ー乾性沈着(フィルターバック法によ る粒子・ガス成分濃度)ー	○木戸 瑞佳(富山県環境科学センター)・中村 雅 和(宮崎県衛生環境研究所)・大場 和生(名古屋市 環境科学調査センター)・武市 佳子(高知県環境研 究センター)・田部 貴大(島根県保健環境科学研究 所)・向井 人史(国立環境研究所)
2D0926	全国酸性雨調査(77)ー乾性沈着(パッシブ法によるアンモ ニア濃度測定結果)ー	○横山 新紀(千葉県環境研究センター)・山口 高 志(北海道立総合研究機構 環境科学研究セン ター)・北村 洋子(宮城県保健環境センター)・家 合 浩明(新潟県保健環境科学研究所)・岩間 貴士 (青森県環境保健センター)・大泉 毅((財)アジ ア大気汚染研究センター)
2D0939	全国酸性雨調査(78)ー乾性沈着(沈着量の推計)ー	○松本 利恵(埼玉県環境科学国際センター)・野口 泉(北海道立総合研究機構 環境科学研究セン ター)・松尾 清孝・竹内 淨・財原 宏一(川崎市公 害研究所)・松田 和秀(明星大学)

座長：大泉 毅 (アジア大気汚染研究センター)

2D1000	PSCF法を用いた雨水中成分の発生源解析	○久恒 邦裕・山神 真紀子(名古屋市環境科学調査 センター)・松本 光弘(奈良県)
2D1013	日本列島における降水組成の経年変化Ⅱ	○藤田 慎一(電力中央研究所)
2D1026	日本における1991年から2008年の湿性沈着量トレンド解析	○北山 響(東京農工大学)・瀬戸 信也(広島県立 総合技術研究所)・佐藤 学(広島市立大学)・原 宏(東京農工大学)・濱村 研吾(福岡県保健環境研 究所)・岩切 淳・眞崎 造成(宮崎県衛生環境研究 所)
2D1039	九州・沖縄・山口地方における酸性雨の状況について	○中村 雅和・森下 敏朗・祝園 秀樹(宮崎県衛生環 境研究所)

座長：松本 利恵 (埼玉県環境科学国際センター)

2D1100	中国重慶市における降水酸性度の経年変動	○大泉 毅・佐瀬 裕之(アジア大気汚染研究セン ター)
2D1113	東アジアにおける降水pHの決定要因	○北山 響(東京農工大学)・村尾 直人(北海道大 学)・山下 雄太郎(東京農工大学)・塩崎 卓哉 (アジア大気汚染研究センター)・原 宏(東京農工 大学)
2D1126	東アジアにおける硫黄沈着量の経年変動に関するモデル解 析	○栗林 正俊(岐阜大学流域圏科学研究センター)・ 大原 利真・森野 悠(国立環境研究所)・鶴野 伊津 志(九州大学応用力学研究所)・黒川 純一(アジ ア大気汚染研究センター)・原 宏(東京農工大学農 学部)

2D1139	隠岐における大気化学への大陸の影響	○山下 雄太郎・北山 響（東京農工大学）・葛貫 桂一（東京工業大学）・小林 優太・田部 貴大（島根県保健環境科学研究所）・原 宏（東京農工大学）
2D1152	日本の降水化学への塩酸の寄与	○山下 雄太郎・北山 響（東京農工大学）・大原 信（電力中央研究所）・村尾 直人（北海道大学）・原 宏（東京農工大学）

E会場（1 空間-5 東アジア）

座長：金谷 有剛（海洋研究開発機構）

2E0900	長崎県福江島における有機エアロゾル・エアロゾル金属成分の季節変化	○吉野 彩子・畠山 史郎・鈴木 亮太（東京農工大学）・高見 昭憲・佐藤 圭（国立環境研究所）・兼保 直樹（産業技術総合研究所）・村野 健太郎（法政大学）・坂東 博・定永 靖宗（大阪府立大学）・坂本 哲夫（工学院大学）間山 憲仁（工学院大学、東京工業大学）・三澤 健太郎・藤井 正明（東京工業大学）
2E0913	長崎福江島におけるフィルターパック法による粗大粒子と微小粒子の観測（Ⅱ）	○濱野 智明（法政大学）・高見 昭憲・伊礼 聡（国立環境研究所）・坂本 哲夫（工学院大学）・間山 憲仁（工学院大学、東京工業大学）・畠山 史郎・吉野 彩子（東京農工大学）・坂東 博・定永 靖宗（大阪府立大）・藤井 正明・三澤 健太郎（東京工業大学）・村野 健太郎（法政大学）
2E0926	高分解能TOF-SIMSによる微小粒子の構造解析	○間山 憲仁（東京工業大学資源化学研究所）・三浦 祐哉（工学院大学工学部）・吉野 彩子（東京農工大大学院農学研究院）・三澤 健太郎（東京工業大学資源化学研究所）・坂本 哲夫（工学院大学工学部）・高見 昭憲（国立環境研究所）・畠山 史郎（東京農工大大学院農学研究院）・坂東 博（大阪府立大学大学院工学研究科）・村野 健太郎（法政大学大学院工学研究科）・藤井 正明（東京工業大学資源化学研究所）
2E0939	レーザーイオン化TOF-SIMSによる大気微粒子の構造解析	○三澤 健太郎・間山 憲仁（東京工業大学）・大石 乾詞・坂本 哲夫（工学院大学）・高見 昭憲（国立環境研究所）・村野 健太郎（法政大学）・吉野 彩子・畠山 史郎（東京農工大学）・坂東 博（大阪府立大学）・藤井 正明（東京工業大学）

座長：兼保 直樹（産業技術総合研究所）

2E1000	構造解析に基づいた微小粒子の生成、変質過程の推定	○高見 昭憲（国立環境研究所）・間山 憲仁（東京工業大）・坂本 哲夫・大石 乾詞（工学院大学）・伊礼 聡・三好 猛雄（国立環境研究所）・村野 健太郎（法政大学）・畠山 史郎・吉野 彩子（東京農工大）・坂東 博・定永 靖宗（大阪府立大）・三澤 健太郎・藤井 正明（東京工業大）
2E1013	NO _y 、ガス状汚染物質、後流跡線からみた福江での観測概要	○坂東 博（大阪府立大学大学院）・畠山 史郎（東京農工大学大学院）・村野 健太郎（法政大学）・高見 昭憲（国立環境研究所）・坂本 哲夫（工学院大学）・三澤 健太郎・藤井 正明（東京工業大学大学院）・増井 嘉彦・紫合 英樹・定永 靖宗・米村 正一郎（大阪府立大学大学院）
2E1026	2012年3月の東シナ海上空における長距離越境大気汚染の航空機観測－観測概要およびオゾン、SO ₂ 、エアロゾルの濃度	○畠山 史郎・島田 幸治郎・古賀 美也子・田辺 美保（東京農工大学）・定永 靖宗・藤原 大・坂東 博（大阪府立大学）・張 代洲（熊本県立大学）・瀬戸 章文（金沢大学）・加藤 俊吾・梶井 克純（首都大学東京）・清水 厚・杉本 伸夫・高見 昭憲（国立環境研究所）・新垣 雄光（琉球大学）

2E1039	窒素酸化物種についての東シナ海上空での航空機観測	○藤原 大・定永 靖宗・増井 嘉彦・弓場 彬江（大阪府立大学）・畠山 史郎・池田 圭輔・島田 幸治郎・古賀 美也子・田辺 美保・渡邊 泉（東京農工大学）・新垣 雄光（琉球大学）・加藤 俊吾・梶井 克純（首都大学東京）・張 代洲・原 和崇（熊本県立大学）・藤本 敏行（室蘭工業大学）・瀬戸 章文（金沢大学）・奥山 喜久夫・荻 崇・李 信榮（広島大学）・高見 昭憲・清水 厚（国立環境研究所）・坂東 博（大阪府立大学）
--------	--------------------------	---

座長：櫻井 達也（日本エヌ・ユー・エス）

2E1100	福江島でのオゾン・前駆物質・PM2.5・ブラックカーボン通年観測(2009-2011)	○金谷 有剛・竹谷 文一・駒崎 雄一（海洋研究開発機構）・谷本 浩志（国立環境研究所）・Xiaole Pan（海洋研究開発機構）・入江 仁士（千葉大学）・高島 久洋（福岡大学）
2E1113	2010年の福江島PM2.5濃度に対する発生源の感度解析	○池田 恒平・山地 一代・金谷 有剛・竹谷 文一・潘 小楽・駒崎 雄一（海洋研究開発機構）・黒川 純一（アジア大気汚染研究センター）・大原 利真（国立環境研究所）
2E1126	福江島でのオゾン・PM2.5、前駆物質の通年観測のモデル解析	○山地 一代・池田 恒平・金谷 有剛・竹谷 文一・駒崎 雄一・Xiaole PAN（海洋研究開発機構）・鶴野伊津志（九州大学）・黒川 純一（アジア大気汚染研究センター）・大原 利真・谷本 浩志・横内 陽子（国立環境研究所）・Li Jie（大気物理研究所）・入江 仁士（千葉大学）・高島 久洋（福岡大学）
2E1139	九州北部都市域および福江島において長期観測されたPM2.5主要成分	○兼保 直樹（産業技術総合研究所）・高見 昭憲・佐藤 圭（国立環境研究所）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・畠山 史郎・吉野 彩子（東京農工大学）

F会場（5 物質-2 粒子状物質）

座長：上野 広行（東京都環境公社東京都環境科学研究所）

2F0900	全国の環境研究機関の有機連携によるPM2.5汚染の実態解明	○菅田 誠治（国立環境研究所）・板野 泰之（大阪市立環境科学研究所）・飯島 明宏（高崎経済大学）・山本 勝彦（地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・谷口 延子（京都府保健環境研究所）・秋山 雅行（（地独）北海道立総合研究機構 環境科学研究所）・大原 利真（国立環境研究所）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・山崎 敬久（富山県環境科学センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学センター）・長田 健太郎（山口県環境保健センター）・田村 圭（長崎県環境保健研究所）・家合 浩明（新潟県保健環境科学研究所）・佐川 竜也（島根県出雲保健所）
2F0913	多変量解析によるPM2.5高濃度イベントの解釈	○飯島 明宏（高崎経済大学）・山本 勝彦（地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・谷口 延子（京都府保健環境研究所）・秋山 雅行（（地独）北海道立総合研究機構 環境科学研究所）・山崎 敬久（富山県環境科学センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学センター）・長田 健太郎（山口県環境保健センター）・田村 圭（長崎県環境保健研究所）・家合 浩明（新潟県保健環境科学研究所）・佐川 竜也（島根県出雲保健所）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）

2F0926	2012年1月中旬に観測されたPM2.5高濃度イベントにおける炭素成分の挙動	○中戸 靖子・山本 勝彦（地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）・秋山 雅行（地方独立行政法人北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・谷口 延子（京都府保健環境研究所）・山崎 敬久（富山県環境科学センター）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・長田 健太郎（山口県環境保健センター）・田村 圭（長崎県環境保健研究センター）・家合 浩明（新潟県保健環境科学研究所）・佐川 竜也（島根県出雲保健所）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）
2F0939	2012年1月中旬に観測されたPM2.5高濃度イベントにおけるイオン成分の挙動	○山本 重一・下原 孝章・濱村 研吾（福岡県保健環境研究所）・山本 勝彦（地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）・谷口 延子（京都府保健環境研究所）・山崎 敬久（富山県環境科学センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・長田 健太郎（山口県環境保健センター）・田村 圭（長崎県環境保健研究センター）・家合 浩明（新潟県保健環境科学研究所）・佐川 竜也（島根県出雲保健所）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）

座長：熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）

2F1000	2012年1月中旬に観測されたPM2.5高濃度イベントにおける無機元素の挙動	○日置 正・谷口 延子（京都府保健環境研究所）・山本 勝彦・中戸 靖子（大阪府立環境農林水産総合研究所）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・山崎 敬久（富山県環境科学センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・田村 圭（長崎県環境保健研究センター）・家合 浩明（新潟県保健環境科学研究所）・佐川 竜也（島根県出雲保健所）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）
2F1013	2012年1月におけるPM2.5高濃度時の濃度分布とその要因について	○山本 勝彦・中戸 靖子（地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・加藤 三奈（愛知県環境調査センター）・西山 亨（三重県保健環境研究所）・高倉 尚枝・平澤 幸代・谷口 延子（京都府保健環境研究所）・中坪 良平（（財）ひょうご環境創造協会兵庫環境研究センター）・板野 泰之（大阪市立環境科学研究所）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）
2F1026	隠岐及び京丹後における大気エアロゾル化学成分自動連続分析結果について	○谷口 延子・日置 正（京都府保健環境研究所）・佐川 竜也（島根県出雲保健所）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）
2F1039	北日本におけるPM2.5高濃度出現状況について(1)－水溶性成分、炭素成分の挙動－	○秋山 雅行・大塚 英幸・芥川 智子（（地独）北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）

座長：長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）

2F1100	北日本におけるPM2.5高濃度出現状況について(2)－無機元素成分の挙動－	○大塚 英幸・秋山 雅行・芥川 智子（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）
2F1113	各種発生源から大気に排出される粒子状物質の化学組成プロファイリング	○飯島 明宏（高崎経済大学）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）
2F1126	特殊な発生源からのVOC排出実態調査	○板野 泰之（大阪市立環境科学研究所）・菅田 誠治・大原 利真（国立環境研究所）

2F1139	2011年2月の国内におけるPM2.5の高濃度現象の解析(3)	○山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・佐川 竜也（出雲保健所）・中戸 靖子（大阪府立環境農林水産総合研究所）・長田 健太郎（山口県環境保健センター）・米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）・山本 勝彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）・山田 大介（川崎市環境局環境対策部）・芝和代（愛媛県立衛生環境研究所）・山田 克則（福井県衛生環境研究センター）・菅田 誠治・大原 利真（独立行政法人国立環境研究所）
2F1152	2012年5月に観測されたPM2.5の高濃度現象の解析	○長田 健太郎（山口県環境保健センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）・平澤 幸代（京都府保健環境研究所）・山本 勝彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）・池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）

<第3日目 9月14日(金) 午前>

A会場(1空間-3地区・街区 / 5物質-4繊維状物質 / 2手法-4データ解析)

座長: 松本 文雄(岩手県環境保健研究センター)

3A0913	エアロゾル3粒径分離フィルターパックによる大気汚染物質の観測(Ⅱ)	○村野 健太郎(法政大学生命科学部)・高見 昭憲(国立環境研究所)・藤井 正明(東京工業大学)
3A0926	最近の北九州市地域の黄砂・煙霧飛来時の汚染物質濃度の特徴	○原 悠花里・嵐谷 奎一・山根 裕一・秋山 幸雄(産業医科大学)・市瀬 孝道(大分県立看護科学大学)・檜崎 幸範(福岡県保健環境研究所)
3A0939	酸化チタン塗料面の窒素酸化物の削減の屋外設置条件での実証試験	○松見 豊・中山 智喜(名古屋大学)

座長: 中村 憲司(労働安全衛生総合研究所)

3A1000	アスベスト除去工事における大気中へのアスベスト飛散監視調査-第3報-	○藤原 亘・坂本 美徳・中坪 良平(兵庫県環境研究センター)・藤原 拓洋(丹波県民局)・平木 隆年(兵庫県環境研究センター)
3A1013	煙突用石綿断熱材からの石綿飛散について	○外山 尚紀(東京労働安全衛生センター)・名取雄司(医療法人社団ひらの亀戸ひまわり診療所)
3A1026	浮遊石綿の自動計数システムにおける偏光特性の導入とその効果	○井上 義雄・佐藤 星河・近藤 明(大阪大学大学院工学研究科)
3A1039	偏光顕微鏡による消光角測定が可能なクリソタイル繊維径の下限值	○仲地 史裕・田中 千尋(株式会社環境管理センター)・小坂 浩(個人)・小沢 純子(株式会社EFAラボラトリーズ)・須藤 与志勝(株式会社オオスミ)・永野 忠洋(株式会社環境総合研究所)・藤原 靖将(株式会社東海テクノ)・船岡 弘之(環境リサーチ株式会社)・伴丈 修(株式会社アサヒテクノリサーチ)

座長: 茶谷 聡(豊田中央研究所)

3A1100	暖候期における東海近畿北陸地域の光化学オキシダント濃度の比較解析	○平澤 幸代・高倉 尚枝(京都府保健環境研究所)・山田 克則(福井県衛生環境研究センター)・大野 隆史(名古屋市環境科学調査センター)
3A1113	関東地方における近年の光化学オキシダント注意報発令状況の変化	○石井 康一郎・齊藤 伸治((公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所)・松本 幸雄(統計数理研究所)・伊藤 政志(海外環境協力センター)・上野 広行・内田 悠太((公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所)
3A1126	堂平山観測所における二酸化炭素高濃度事例解析について	○武藤 洋介(埼玉県環境科学国際センター)
3A1139	ナノ材料を含む製品の使用時・廃棄時の環境中への放出量の推定	○劉 露・塩田 憲司・松井 康人・米田 稔(京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻環境リスク工学講座)

B会場(4過程-4沈着 / 4過程-5動態)

座長: 堅田 元喜(日本原子力研究開発機構)

3B0913	ストリップング法による乾性沈着表面抵抗の観察(室内実験)(1)二酸化硫黄	○阿部 達也(法政大学・産業技術総合研究所)・忽那 周三(産業技術総合研究所)・村野 健太郎(法政大学)
3B0926	気体状有機化合物の水への吸着挙動の研究	○西川 晴香・定永 靖宗・坂東 博・竹中 規訓(大阪府立大学)
3B0939	緩と渦集積法によるエアロゾルフラックス測定器装置の開発ーサンプリング法の改良および検証ー	○水上 功・松田 和秀(明星大学大学院理工学研究科)

座長：中込 和徳（長野県環境保全研究所）

3B1000	推計法による水田上のアンモニアフラックスの推定	○堅田 元喜（日本原子力研究開発機構）・林 健太郎・小野 圭介（農業環境技術研究所）・永井 晴康（日本原子力研究開発機構）・宮田 明・間野 正美（農業環境技術研究所）
3B1013	関東地方の単作水田における昼夜区分フィルターバック法を用いた窒素交換モニタリング	○林 健太郎（独立行政法人農業環境技術研究所）・松田 和秀（明星大学）・小野 圭介・常田 岳志・長谷川 利弘（独立行政法人農業環境技術研究所）
3B1026	有害大気汚染物質の動態解析と降水洗浄機構(10)	○小林 由典・大河内 博・緒方 裕子（早稲田大学大学院創造理工学研究科）
3B1039	日本海沿岸地域における降雪による海塩粒子の取り込み(2)	○大原 信・藤田 慎一・高橋 章（電力中央研究所）

座長：大原 信（電力中央研究所）

3B1100	八方尾根における大気汚染物質の日内変動の特徴	○中込 和徳・池田 友洋（長野県環境保全研究所）
3B1113	わが国における大気中HONOの挙動(3)	○野口 泉・山口 高志（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）・岩崎 綾（沖縄県衛生環境研究所）・松本 利恵（埼玉県環境科学国際センター）・堀尾 拓矢（愛知県環境調査センター）・堀江 洋佑（兵庫県環境研究センター）・浴口 智行（和歌山県環境衛生研究センター）・桑尾 房子（高知県環境研究センター）・恵花 孝昭（札幌市衛生研究所）・松田 和秀（明星大学）
3B1126	フィルターバック法を用いた大気中ガス・エアロゾル成分濃度の日内変動(2)	○野口 泉・山口 高志・秋山 雅行・川村 美穂（北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）・高木 健太郎（北海道大学）・松田 和秀（明星大学）
3B1139	柏崎地域における大気中ベリリウム-7とオゾン濃度の関係	○福岡 紀夫（新潟工科大学）・川口 佳菜（新潟工科大学 大学院工学研究科）

C会場（1 空間-2 道路沿道）

座長：船坂 邦弘（大阪市立環境科学研究所）

3C0900	高活性炭素繊維(ACF)を用いた環境大気浄化に関する研究(26)ー内気循環モードにおける車内NOx汚染の実態ー	○下原 孝章・力 寿雄・板垣 成泰（福岡県保健環境研究所）
3C0913	高活性炭素繊維(ACF)を用いた環境大気浄化に関する研究(27)ー空気流れを利用したACFによる車内浄化技術とそのNOx削減効果ー	○下原 孝章・力 寿雄・板垣 成泰（福岡県保健環境研究所）・前田 牧子（九州大学）
3C0926	高活性炭素繊維(ACF)を用いた環境大気浄化に関する研究(28)ー内気循環モードにおける車内のVOCs汚染の実態とACF施工による削減効果ー	○力 寿雄・板垣 成泰・下原 孝章（福岡県保健環境研究所）
3C0939	高活性炭素繊維(ACF)を用いた環境大気浄化に関する研究(29)ー車内の空気流れと最適なACF施工部位の検討ー	○板垣 成泰・下原 孝章・力 寿雄・前田 牧子（福岡県保健環境研究所）

座長：竹川 秀人（豊田中央研究所）

3C1000	高活性炭素繊維(ACF)を用いた環境大気浄化に関する研究(30)ーACFと活性炭のNOx捕捉能力の比較ー	○板垣 成泰（福岡県保健環境研究所）・吉川 正晃（大阪ガス（株））・下原 孝章・力 寿雄（福岡県保健環境研究所）
3C1013	中国北京市における高活性炭素繊維(ACF)の大気浄化効果	○吉川 正晃（大阪ガス（株））・下原 孝章（福岡県保健環境研究所）・康 飛宇（清華大学）
3C1026	粒子状物質の吸着浄化に関する実験的研究 ～顕微鏡による観察結果について～	○船坂 邦弘・古市 裕子・榎元 慶子（大阪市立環境科学研究所）
3C1039	局地汚染地域における各種自動車排出ガス抑制対策の環境改善効果評価手法の確立(1)自動車発生源作成手法	○藤原 禪・塩見 崇史・尾形 和彦（株式会社 数理計画）

座長：下原 孝章（福岡県保健環境研究所）

3C1100	局地汚染地域における各種自動車排出ガス抑制対策の環境改善効果評価手法の確立(2) シミュレーション手法ならびに環境改善効果の評価手法	○塩見 崇史・藤原 禅・尾形 和彦（株式会社 数理計画）
3C1113	ナンバープレート調査結果及び自動車使用管理計画作成プログラムの排出係数を用いた、一般国道における自動車NOx排出量内訳の簡易推定	○土肥 学・神田 太郎・曾根 真理（国土技術政策総合研究所）
3C1126	沿道におけるNO2の高濃度要因(6) 2010年度の観測値との比較による予測結果の検証	○竹川 秀人・茶谷 聡（（株）豊田中央研究所）・伊藤 晃佳（（財）日本自動車研究所）
3C1139	新宿区におけるPM2.5の実態調査(1) 一交差点近傍におけるPM2.5濃度の連続測定	○由良 仁志・佐々木 淳一・長宗 寧・藤村 満（グリーンブルー株式会社）・樋口 良太・奥山 雄樹（新宿区環境清掃部環境対策課）
3C1152	新宿区におけるPM2.5の実態調査(2) 一交差点近傍におけるナイトレートモニターによる連続測定	○佐々木 淳一・由良 仁志・長宗 寧・藤村 満（グリーンブルー株式会社）・樋口 良太・奥山 雄樹（新宿区環境清掃部環境対策課）

D会場（4 過程-1 排出）

座長：伏見 暁洋（国立環境研究所）

3D0900	宅配車の走行実態とその排出ガス実態について	○新田 竜太・佐藤 厚・岡部 順（株式会社 数理計画）・小谷野 真司（（公財）東京都環境公社 東京都環境科学研究所）
3D0913	リアルワールドにおけるディーゼル重量車のNO ₂ 排出状況について(第4報)	○佐藤 厚・岡部 順・新田 竜太（株式会社 数理計画）
3D0926	エコドライブに対する心理的障害について	○岩井 丈・佐藤 厚・岡部 順・新田 竜太（株式会社 数理計画）
3D0939	エコモードの使用による燃費改善効果	○岡部 順・岩井 丈・佐藤 厚・新田 竜太（株式会社 数理計画）

座長：森川 多津子（日本自動車研究所）

3D1000	自動車からの燃料蒸発ガス排出量の推計	○小林 伸治・田邊 潔・高見 昭憲・大原 利真（国立環境研究所）
3D1013	ガソリン乗用車からの蒸発ガス排出実態把握	○山田 裕之（交通安全環境研究所）
3D1026	走行環境が自動車排ガス・燃費に及ぼす影響の考察	○近藤 美則（独立行政法人国立環境研究所）・加藤 秀樹（公益財団法人 豊田都市交通研究所）
3D1039	自動車排出量の30年史	○神成 陽容（フリー、国立環境研究所）・國領 和夫（現代企画社）

座長：林 健太郎（農業環境技術研究所）

3D1100	アジアにおける大気汚染物質・地球温暖化関連物質排出量の近年の状況：アジア域排出インベントリREAS version 2	○黒川 純一（アジア大気汚染研究センター）・大原 利真（国立環境研究所）・中塚 誠次（NTTデータ GCS）・森川 多津子（日本自動車研究所）・茶谷 聡（豊田中央研究所）・華山 伸一（海洋政策研究財団）・櫻井 達也（日本エヌ・ユー・エス）
3D1113	電動架装式ごみ収集車両の低公害性について	○小谷野 真司（東京都環境科学研究所）
3D1126	大型ディーゼル車の燃費改善に対するN ₂ O排出の影響について	○横田 久司・小谷野 真司（東京都環境科学研究所）
3D1139	Post-新長期規制適合ディーゼルエンジンからの未規制物質の排出量評価	○柏倉 桐子・佐々木 左宇介（一般財団法人日本自動車研究所）
3D1152	船舶からの大気汚染物質排出規制が近畿圏大気質に及ぼす影響	○近藤 明（大阪大学大学院）・交河 茂晴（日本郵船）・井上 義雄（大阪大学）

E会場（1 空間-5 東アジア）

座長：原 宏（東京農工大学）

3E0900	石川県羽咋市でのアンモニア観測：越境汚染時のガス/粒子分配	○長田 和雄（名古屋大学）
3E0913	立山山麓における粒子状・ガス状物質濃度の変化	○木戸 瑞佳・近藤 隆之（富山県環境科学センター）
3E0926	東アジアから越境輸送される窒素酸化物によるオゾン生成効率の評価	○紫合 英樹・定永 靖宗・増井 嘉彦（大阪府立大学）・高見 昭憲・大原 利真・横内 陽子（国立環境研究所）・米村 正一郎（農業環境技術研究所）・弓場 彬江（大阪府立大学、現：名古屋大学）・加藤 俊吾（首都大学東京）・梶井 克純（首都大学東京、現：京都大学）・畠山 史郎（東京農工大学）・井関 将太（大阪府立大学）・松木 篤・岩坂 泰信（金沢大学）・佐藤 啓市（アジア大気汚染研究センター）・坂東 博（大阪府立大学）
3E0939	沖縄県辺戸岬におけるワイドレンジ粒子スペクトロメータによる大気エアロゾルの観測	○三好 猛雄・高見 昭憲・伊禮 聡（国立環境研究所）・下野 彰夫・疋田 利秀（汀線科学研究所）・IRWIN Martin・大畑 祥・近藤 豊（東京大学）

座長：佐竹 晋輔（日本エヌ・ユー・エス）

3E1000	北東アジアにおける粒子態PAHsのソース・レセプター解析	○猪股 弥生（アジア大気汚染研究センター）・梶野 瑞王（気象研究所）・佐藤 啓市（アジア大気汚染研究センター）・大原 利真（国立環境研究所）・黒川 純一（アジア大気汚染研究センター）・唐 寧（兵庫薬科大学）・早川 和一（金沢大学）・植田 洋匡（豊橋技術大学）・大泉 毅・秋元 肇（アジア大気汚染研究センター）
3E1013	東アジアのオゾンとPM2.5のリスク及び経済評価	○山下 研（新潟県保健環境科学研究所）・アミン ナワダ（アジア大気汚染研究センター）
3E1026	日本に飛来する黄砂の分類について	○後藤 隆久（環境省大気環境課）・岩本 真二・日下部 正和（日本環境衛生センター）
3E1039	ライダー黄砂消散係数とSPM濃度による黄砂飛来判定の検討	○日下部 正和・岩本 真二（日本環境衛生センター）・後藤 隆久（環境省大気環境課）

座長：山下 研（新潟県保健環境科学研究所）

3E1100	イルクーツクの降水化学(2)	○原 宏・北山 響（東京農工大学）・Khodzher Tamara（陸水研究所）・大泉 毅（アジア大気汚染研究センター）・村尾 直人（北海道大学）
3E1113	日本の降水化学のPMF解析	○原 宏・北山 響（東京農工大学）・塩崎 卓也（アジア大気汚染研究センター）・村尾 直人（北海道大学）
3E1126	東シナ海地域の島嶼における降水化学	○原 宏（東京農工大学）・岩崎 綾（沖縄県衛生環境研究所）・George Lin・Jao Ya-Ching・Sheu Guey Rong（国立中央大学）
3E1139	冬季ウランバートルの大気粉じん濃度変動の特徴	○森 育子・山崎 正夫（東京都環境科学研究所）・Batdorj Dashdondog（Institute of Meteorology and Environment）・高橋 明宏（東京都下水道局）・西川 雅高・松井 一郎・清水 厚（国立環境研究所）・高橋 克行（日本環境衛生センター）

F会場（5物質-2粒子状物質）

座長：日置 正（京都府保健環境研究所）

3F0900	兵庫県における微小粒子状物質の成分分析と発生源解析	○常友 大資・中坪 良平・平木 隆年（兵庫県環境研究センター）・島 正之・余田 佳子・唐 寧（兵庫医科大学）・齊藤 勝美（環境計測株式会社）
3F0913	兵庫県姫路市における粒径別粒子の測定と発生源解析	○中坪 良平・常友 大資・平木 隆年（兵庫県環境研究センター）・島 正之・余田 佳子・唐 寧（兵庫医科大学）・齊藤 勝美（環境計測）
3F0926	PM2.5質量および成分の時間値連続測定の基づく大阪市の汚染特性の解析	○板野 泰之（大阪市立環境科学研究所）・植田 明子・辻本 賢太・紀本 岳志（紀本電子工業株式会社）
3F0939	奈良県におけるPM2.5高濃度事例時の成分分析	○浅野 勝佳・菊谷 有希・浦西 克維・山本 圭吾（奈良県保健環境研究センター）

座長：山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）

3F1000	2011年11月に関東で観測されたPM2.5高濃度の解析	○長谷川 就一・米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）・山田 大介（川崎市環境局環境対策部）・鈴木 義浩（川崎市公害研究所）・石井 克巳（千葉県環境研究センター）・齊藤 伸治（公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所）・鴨志田 元喜（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）・熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）・国立環境研究所Ⅱ型共同研究グループ、国立環境研究所・Ⅱ型共同研究グループ、観測グループ（関東甲信静グループ）
3F1013	関東甲信静におけるPM2.5のキャラクタリゼーション（第3報） —H20～H22年度調査結果—	○米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）
3F1026	PMFモデルを用いた関東広域のPM2.5の発生源解析（2008～2010）	○山田 大介（川崎市環境局環境対策部環境対策課）
3F1039	関東地方におけるPM2.5無機イオンの高時間分解同時観測（2）—夏季と初冬季の比較—	○米持 真一・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・萩野 浩之（日本自動車研究所）・熊谷 貴美代・山口 直哉（群馬県衛生環境研究所）・関口 和彦（埼玉大学）・飯島 明宏（高崎市立高崎経済大学）・速水 洋（電力中央研究所）

座長：高橋 克行（日本環境衛生センター）

3F1100	さいたま市・埼玉県による粒子状物質調査 —地点別・粒径別に見た化学組成の比較—	○城 裕樹（さいたま市健康科学研究センター）・米持 真一・梅沢 夏実・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）
3F1113	神奈川県、横浜市、川崎市によるPM2.5実態調査結果（2010年） —季節変動と後方流跡線解析—	○浦垣 充朗・永井 敬祐（横浜市環境創造局環境科学研究所）・白砂 裕一郎・馬場 隆之（横浜市環境創造局環境管理課監視センター）・阿相 敏明・小松 宏昭（神奈川県環境科学センター）・鈴木 義浩（川崎市公害研究所）・山田 大介（川崎市環境局環境対策課）・山梨 和徳（川崎市公害監視センター）
3F1126	神奈川県内における微小粒子状物質の経年変化について	○小松 宏昭・阿相 敏明（神奈川県環境科学センター）・浦垣 充朗・永井 敬祐（横浜市環境科学研究所）・白砂 裕一郎・馬場 隆之（横浜市環境創造局環境管理課監視センター）・鈴木 義浩（川崎市公害研究所）・山田 大介（川崎市環境局環境対策課）・山梨 和徳（川崎市公害監視センター）
3F1139	神奈川県における高濃度SPM現象の解析（2011年8月）	○鈴木 義浩（川崎市公害研究所）・山田 大介（川崎市環境局環境対策部環境対策課）・山梨 和徳（川崎市公害監視センター）・阿相 敏明・小松 宏昭（神奈川県環境科学センター）・浦垣 充朗・永井 敬祐（横浜市環境創造局環境科学研究所）・白砂 裕一郎・馬場 隆之（横浜市環境創造局環境管理課監視センター）
3F1152	微小粒子状物質（PM2.5）対策の費用便益分析に関する一考察	○橋本 拓磨・松井 敏彦・中畑 佳城（中央復建コンサルティング株式会社）

<第3日目 9月14日（金）午後>

C会場（1 空間-2 道路沿道）

座長：近藤 裕昭（産業技術総合研究所）

3C1300	交差点における大気濃度差の要因分析に関する研究	○北岡 健・近藤 明・井上 義雄（大阪大学大学院工学研究科）
3C1313	メキシコシティ中心部におけるパッシブサンプラーを用いた酸性ガスの沿道観測	○神田 勲（愛媛大学農学部大気環境科学研究室）・篠原 直秀（産業技術総合研究所安全科学研究部門）・若松 伸司（愛媛大学農学部大気環境科学研究室）
3C1326	トンネルにおける自動車起源窒素酸化物の排出実態調査	○齊藤 伸治・石井 康一郎・上野 広行・内田 悠太・横田 久司・秋山 薫（公益財団法人 東京都環境公社 東京都環境科学研究所）
3C1339	都市域における道路換気塔近傍の排煙上昇高さ推定方法の検討	○吉田 裕志・北島 和也（首都高速道路株式会社）・平野 米子（株式会社環境技術研究所）・岡本 眞一（東京情報大学）・堀内 健司（（株）JIST）
3C1352	順風道路による温暖化対策の基礎検討(3)	○井手 靖雄（元久留米工業大学）
3C1405	幹線道路トンネル壁面に生息する微生物の群集構造解析	○奥西 将之（きんぱね株式会社）・清水 博之・森田 康敬・樋口 能士（立命館大学理工学部）

D会場（4 過程-1 排出）

座長：小林 伸治（国立環境研究所）

3D1300	JATOPの公開排出量インベントリ: JEI-DB(JATOP Emission Inventory -Data Base)の紹介	○森川 多津子（一般財団法人 日本自動車研究所）・茶谷 聡（株式会社 豊田中央研究所）・中塚 誠次（株式会社 NTTデータCCS）・松永 壮（北海道大学）
3D1313	アンモニア排出インベントリの構築について 第2報	○森川 多津子（一般財団法人 日本自動車研究所）
3D1326	国際宇宙ステーションからの大気環境観測ミッション APOLLO提案: 科学的意義	○金谷 有剛（海洋研究開発機構）・谷本 浩志（国立環境研究所）・北 和之（茨城大学）・笠井 康子（情報通信研究機構）
3D1339	作物残渣の焼却に伴うガス・無機エアロゾルの発生: 残渣の含水率の影響	○林 健太郎・小野 圭介・梶浦 雅子・須藤 重人（独立行政法人農業環境技術研究所）・伏見 暁洋（国立環境研究所）・齊藤 勝美（環境計測（株））・藤谷 雄二・田邊 潔（国立環境研究所）
3D1352	農作物残渣の野焼きで排出される粒子の排出係数と化学組成	○伏見 暁洋（国立環境研究所）・齊藤 勝美（環境計測（株））・林 健太郎・須藤 重人・小野 圭介・梶浦 雅子（農業環境技術研究所）・藤谷 雄二（国立環境研究所）・世良 耕一郎（岩手医科大学）・高見 昭憲・田邊 潔（国立環境研究所）

F会場（5物質-2粒子状物質）

座長：関口 和彦（埼玉大学大学院）

3F1300	福島原発事故で放出された放射性セシウムの大気中での存在形態は何か?	○兼保 直樹（産業技術総合研究所）・奥田 知明（慶応大学）・池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）
3F1313	福島県における放射性エアロゾルの粒径分布測定	○反町 篤行（弘前大学）・岡 光昭（日本原燃）・細田 正洋・田副 博文・床次 眞司・山田 正俊・柏倉 幾郎（弘前大学）
3F1326	輪島におけるPM1.1の化学組成と炭素安定同位体	○池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター、名古屋大学大学院環境学研究科）・亀田 貴之・早川 和一（金沢大学医薬保健研究域薬学系）・中村 俊夫（名古屋大学年代測定総合研究センター）
3F1339	関東、富士山頂および上海で採取したPM1の特徴と磁気分離法の適用	○米持 真一・王 効挙・梅沢 夏実（埼玉県環境科学国際センター）・大河内 博・名古屋 俊士・緒方 裕子・原田 侑宜・柳本 悠輔（早稲田大学）・Lu Senlin・Zhang Rui・Hu Xuefeng（上海大学）

座長：米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）

3F1400	沿道と一般環境における大気中ナノ粒子の粒径分布の長期観測(2004-2011)	○高橋 克行（日本環境衛生センター）・藤谷 雄二（国立環境研究所）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・伏見 暁洋・田邊 潔・小林 伸治（国立環境研究所）
3F1413	道路沿道における冬季大気中ナノ粒子の粒径分布調査(Ⅱ)	○石井 克巳（千葉県環境研究センター）・藤谷 雄二（国立環境研究所）
3F1426	大気中ナノ粒子の内部混合状態の測定	○藤谷 雄二（国立環境研究所）・坂本 哲夫（工学院大学）・三澤 健太郎（東京工業大学）
3F1439	大気中超微小粒子捕集における慣性フィルターサンプラーの性能評価	○桜井 健治・関口 和彦・王 青躍（埼玉大学大学院理工学研究科）

環境機器展 展示企業一覧

年会会期中（9月12日～14日）、ポスター会場にて環境機器展を開催致します。また、昼休み中にE・F会場において技術セミナー（参加費無料、先着100名様に軽食付）を開催致します。奮ってご参加ください。

＜ブース展示＞

1. ムラタ計測器サービス株式会社
2. 株式会社ガステック
3. 柴田科学株式会社
4. 株式会社堀場製作所
5. パナリティカル（スペクトリス株式会社）
6. 紀本電子工業株式会社
7. 東京ダイレック株式会社
8. 東亜ディーケーケー株式会社
9. 株式会社リガク
10. 株式会社小笠原計器製作所
11. 西川計測株式会社
12. 高千穂商事株式会社
13. グリーンブルー株式会社
14. 株式会社汀線科学研究所
15. 光明理化学工業株式会社

＜カタログ展示＞

1. 株式会社アイデック
2. オリックス・レンテック株式会社
3. ジーエルサイエンス株式会社
4. 住重試験検査株式会社
5. 株式会社エックス都市研究所

（受付順）